

[記入方法] OKであれば□にレマークを、OKでない場合は×マークを記入し、対象外の場合は－を記入する。

令和 8 年 4 月 1 日改訂  
土木用 (第3評定者)

別紙-3①

3. 出来形及び出来ばえ	a	a'	b	b'	c	d
I. 出来形	□ 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね50%以内で、下記の「評価対象項目」の5項目以上が該当する。	□ 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね80%以内で、下記の「評価対象項目」の4(4注)項目以上が該当する。	□ 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね80%以内で、下記の「評価対象項目」の3(3注)項目が該当する。	□ 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、a～b'(b～b'注)に該当しない。また、主たる工種の管理図表が未作成(別紙-5)	□ 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、a～b'(b～b'注)に該当しない。また、主たる工種の管理図表が未作成(別紙-5)	□ 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、a～b'(b～b'注)に該当しない。また、主たる工種の管理図表が未作成(別紙-5)
<p>※ばらつきの判断は別紙-4参照 別紙-3の作成は別紙-5により行う。 主たる工種 (1) (2) (3)</p> <p>ばらつき判断の可否 ・ばらつき判断できる ・ばらつき判断できない。(いずれかを○で囲む)</p> <p>注 測定結果の打点数が少なく、<b>ばらつき判断できない場合は「評価対象項目」のみで評価するものとし、( )内の評価項目の数で評価する。</b></p> <p>ばらつき判定 測定項目名 ( 点 ) ・ ① 割 ( 8割以上が該当 ) 規格値の 50%以内の数 ( 点 ) ・ ② 割 ( 8割以上が該当 ) 〃 80%以内の数 ( 点 ) ・ ③ 割 ( 8割以上が該当 )</p> <p>ばらつき判定結果 ・50%以内 ・80%以内 ・80%超 (いずれかを○で囲む)</p>						

【評価対象項目】

- 1. 出来形管理図、出来形結果表が漏れなく作成されている。
- 2. □ 1. を満足し、竣工図及び出来形管理図表が検測値に差違なく、適正に作成されていることが確認できる。
- 3. □ 1. を満足し、出来形が容易に把握できるよう、出来形管理図表を工夫し、作成されていることが確認できる。
- 4. 自社の管理基準を設定し、適切に管理している。
- 5. 不可視部分の出来形が写真・資料等での確に判断できる。
- 6. 写真管理基準の管理項目を満足している。
- 7. 出来形管理基準が定められていない工種について、監督員と協議の上で管理していることが確認できる。
- 8. その他 (理由)

●判断基準

評価項目数	ばらつき判断できる			ばらつき判断できない
	50%以内	80%以内	80%超	
5項目以上	a	b	c	b
4項目	a'	b'	c'	b'
3項目	b'	b'	c'	b'
2項目以下	c	c	c	c

① 出来形は、工事全般を通じて評定するものとする。  
 ② 出来形とは、設計図書に示された工事的物の形状及び寸法をいう。  
 ③ 出来形管理とは、「土木工事施工管理基準」の測定項目、測定基準及び規格値に基づき所定の出来形を確認する管理体系である。  
 ④ その他は、1～7以外の項目で特に評価する場合などについて、独自に設定するものとする。

<p>工種 コンクリート 構造工事</p>	<p>工種 コンクリート 構造工事</p>	<p>Ⅱ.品質</p>	<p>品質関係の試験結果が規格外、試験基準を超える不適合に該当する。</p>	<p>品質関係の試験結果のばらつきとから判断する。</p>	<p>品質関係の試験結果が規格外、試験基準を超える不適合に該当する。</p>
<p>3.出来形及び出来ばえ</p>		<p>【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ばらつき判断は別紙一4参照。 別紙一3の作成は別紙一5により行う。</p> <p>【評価対象項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 1. コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質（強度、水セメント比、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等）が確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 2. コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、湿度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 3. 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 4. 施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ、締め方法及び養生方法が、定められた条件を満足していることが確認できる。（寒中及び暑中コンクリート等を含む）</li> <li><input type="checkbox"/> 5. コンクリートの圧縮強度を管理し、必要な強度に達した後、型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 6. コンクリートの打設前に、打継ぎ目処理を適正に行っていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 7. 鉄筋の品質及び規格が、証明書類で確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 8. コンクリート打設までに錆、泥、油等の有害物が鉄筋に付着しないよう管理していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 9. 鉄筋の組立・加工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 10. 圧接作業にあたり、作業員の技量確認を行っていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 11. コンクリートの養生が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 12. ハーサーの品質及び個数が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 13. クラックが無い。</li> <li><input type="checkbox"/> 14. その他（理由）</li> </ul> <p>●判断基準</p>	<p>品質関係の試験結果のばらつきとから判断する。</p>	<p>品質関係の試験結果のばらつきとから判断する。</p>	<p>品質関係の試験結果が規格外、試験基準を超える不適合に該当する。</p>
<p>3.出来形及び出来ばえ</p>		<p>品質関係の試験結果のばらつきとから判断する。</p>	<p>品質関係の試験結果のばらつきとから判断する。</p>	<p>品質関係の試験結果のばらつきとから判断する。</p>	<p>品質関係の試験結果のばらつきとから判断する。</p>

① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。  
 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として比率(%)計算の値で評価する。  
 ③ 評価値(%) = 当該項目数( ) / 対象評価項目数( )  
 ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合にはc評価とする。

	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
	50%以下	80%以下	80%を超える	
90%以上	a	a'	b	a'
75%以上 90%未満	a'	b	b'	b
60%以上 75%未満	b	b'	c	b'
60%未満	b'	c	c	c
評価値				

注 試験結果の打点数等が少なくなればばらつき判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。

<p>工種 土工事 (切土、 盛土、等 築堤等 工事)</p>	<p>Ⅱ.品質</p>	<p>評価対象項目の履行状況 (評価値) と品質関係の試験結果のばらつきとから判断する。</p> <p>【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ばらつきの判断は別紙-4 参照。 別紙-3 の作成は別紙-5 により行う。</p>	<p>品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超える不適合に該当する。</p>
<p>3.出来形及び出来ばえ</p>		<p>【評価対象項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 1. 雨水による崩壊及び流出等が起こらないように、排水対策を実施していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 2. 段切りを設計図書の仕様に基づき行っていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 3. 置換えのための掘削を行うにあたり、掘削面以下を乱さないように施工していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 4. 締固めが設計図書の仕様に定められたり、条件を満足していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 5. 設計図書に定められた一層あたりのまき出し厚を管理していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 6. 芝付け及び種子吹付等を設計図書に定められた条件で行っていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 7. 構造物周辺の締固めを設計図書に定められた条件で行っていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 8. 土質が設計図書を満足していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 9. CBR試験・締固め試験等の品質管理に必要な試験を行っていること</li> <li><input type="checkbox"/> 10. 法面に有害な亀裂がない。</li> <li><input type="checkbox"/> 11. 伐開除根作業が設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 12. その他 (理由 )</li> </ul> <p>●判断基準</p>	<p>①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として比率 (%) 計算の値で評価する。 ③評価値 ( %) = 該当項目数 ( ) / 対象評価項目数 ( ) ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合にはc評価とする。</p>

評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
	50%以下	80%以下	80%を超える	
90%以上	a	a'	b	a'
75%以上 90%未満	a'	b	b'	b
60%以上 75%未満	b	b'	c	b'
60%未満	b'	c	c	c

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目 (評価値) だけで評価する。



別紙-3④

工種 護岸・根固工事 水制工事	工種 護岸・根固工事 水制工事	a 評価対象項目の履行状況 (評価値)	b 品質関係の試験結果のばらつきとから判断する。	a' 90%以上	b' 80%以下	b 75%以上 90%未満	c 60%以上 75%未満	c 50%以下	c 80%を超える	d 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超える不適合に該当する。	
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質		<p> <input type="checkbox"/> 評価対象項目の履行状況 (評価値) と品質関係の試験結果のばらつきとから判断する。  <b>【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】</b>                      ※ばらつきの判断は別紙-4 参照。                      別紙-3 の作成は別紙-5 により行う。                 </p> <p> <b>【評価対象項目】</b>  <input type="checkbox"/> 1. 施工基面を平滑に仕上げていることが確認できる。  <input type="checkbox"/> 2. 裏込材及び胴込めコンクリートは、設計図書の仕様を満足し、締固めを空疎が生じないよう十分に行っていることが確認できる。  <input type="checkbox"/> 3. 緑化ブロック、石積(張)、法枠、かごマット等における材料のかみ合わせ又は連結が、裏込材の吸出しが無いよう行っていることが確認できる。  <input type="checkbox"/> 4. 石積(張)において、大きさと重さが設計図書の仕様を満足していることが確認できる。  <input type="checkbox"/> 5. 護岸工の端部や曲線の処理が適切であり、必要な強度及び水密性を確保していることが確認できる。  <input type="checkbox"/> 6. 遮水シートが所定の幅で重ね合わせられ、端部処理が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。  <input type="checkbox"/> 7. 植生工で、植生の種類、品質、配合及び養生が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。  <input type="checkbox"/> 8. 根固工、水制工、沈床工、捨石工等において、材料の連結及びかみ合わせが設計図書の仕様を満足していることが確認できる。  <input type="checkbox"/> 9. 指定材料の品質が、証明書類で確認できる。  <input type="checkbox"/> 10. 基礎工において、掘り過ぎがなく施工していることが確認できる。  <input type="checkbox"/> 11. コクリートブロック等を損傷なく設置していることが確認できる。  <input type="checkbox"/> 12. 施工にあたって、床掘箇所湧水及び滯水等は、排除して施工していることが確認できる。  <input type="checkbox"/> 13. 埋戻し材料について、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。  <input type="checkbox"/> 14. 水抜き孔の施工にあたって、設計図書の定められた条件を満足していることが確認できる。  <input type="checkbox"/> 15. クラックが無い。  <input type="checkbox"/> 16. その他 (理由 )                 </p> <p style="text-align: center;">●判断基準</p>									
				ばらつきで判断可能		ばらつきで判断不可能					
				50%以下		80%以下		80%を超える		ばらつきで判断不可能	
		評価 値		a a'		b b'		c c		a' b b' c	

① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。  
 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として比率(%)計算の値で評価する。  
 ③ 評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( )  
 ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合にはc評価とする。

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目 (評価値) だけで評価する。

工種	a	a'	b	b'	c	d																													
3.出来形及び出来ばえ	<input type="checkbox"/> 評価対象項目の履行状況(評価値)と品質関係の試験結果のばらつきとから判断する。 【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ばらつき判断は別紙-4参照。 別紙-3の作成は別紙-5により行う。																																		
II.品質	【評価対象項目】 【工場製作関係】 <input type="checkbox"/> 鋼材の種類を、品質を証明する書類又は現物により照合していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 1. 鋼材の種類を、品質を証明する書類又は現物により照合していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 2. 溶接作業にあたり、作業員の技能確認を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 3. 溶接作業にあたり、溶接材料の使用区分が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 4. 溶接施工に係る施工計画書を提出していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 5. 孔空けによる発生が見られないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 6. 欠陥部の発生が見られないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 7. 塗装作業にあたり、塗布面を十分に乾燥させて施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 8. 素地調整を行う場合、第1種ケレン後4時間以内に金属前処理塗装を実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 9. 塗料の空任管理について、写真等で確実に空であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 10. 塗料の品質が出荷証明書、塗料成績表により、製造年月日、ロット番号、色彩、数量が確認できる。 <input type="checkbox"/> 11. その他(理由)																																		
【架設関係】 <input type="checkbox"/> 1. ボルトの締付確認が実施され、記録を保管していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 2. ボルトの締付機及び測定機器のキャリブレーションを実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 3. ボルトの締め付けを、中心から外側に向かって行って行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 4. 高力ボルトの品質が、証明書で確認できる。 <input type="checkbox"/> 5. 高力ボルトの据付で、ボルト面のチップヒンゲ及び仕上げ面に水切勾配がついていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 6. 架設に用いる仮設備及び強度を有することを認識していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 7. 架設に用いる仮設備及び強度を有することを認識していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 8. 架設にあたって、部材の応力と変形等を十分検討していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 9. 現場塗装部におけるケレン及び膜厚管理を適切に行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 10. 現場塗装において、温度、湿度及びその他気象状態の確認を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 21. その他(理由)																																			
●判断基準 <table border="1" data-bbox="1101 448 1444 1534"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th>ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> <th>判断不可能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>a'</td> </tr> <tr> <td>75%以上 90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>60%以上 75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>							評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	判断不可能	90%以上	a	a'	b	a'	75%以上 90%未満	a'	b	b'	b	60%以上 75%未満	b	b'	c	b'	60%未満	b'	c	c	c
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																															
	50%以下	80%以下	80%を超える	判断不可能																															
90%以上	a	a'	b	a'																															
75%以上 90%未満	a'	b	b'	b																															
60%以上 75%未満	b	b'	c	b'																															
60%未満	b'	c	c	c																															
注 試験結果の打点数等が少なくなればらつきでの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。																																			

① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。  
 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として比率(%)計算の値で評価する。  
 ③ 評価値(%) = 該当項目数( ) / 対象評価項目数( )  
 ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合にはc評価とする。

I.品質	a	a'	b	b'	c	d
<p>3.出来形及び出来ばえ</p>	<p>評価対象項目の履行状況 (評価値)</p>	<p>と品質関係の試験結果のばらつきとから判断する。</p>				<p>品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えない場合に該当する。</p>
<p>II.品質</p>	<p>【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ばらつき判断は別紙一4参照。 別紙一3の作成は別紙一5により行う。</p>					
<p>砂防工事 構造物 及び 地すべり 防止工事 (集水井 戸工事を 含む)</p>	<p>【評価対象項目】 【共通】</p>	<p>1. コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質(強度、水セメント比、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。</p>	<p>2. コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。</p>	<p>3. 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。</p>	<p>4. 施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ、締め固め方法及び養生方法が、定められた条件を満足していることが確認できる。(寒中及び暑中コンクリート等を含む)</p>	<p>5. コンクリートの圧縮強度を管理しており、必要な強度に達した後、型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。</p>
<p>鉄筋及び鋼材の取合せ</p>	<p>6. 地山との取合せが適切に行っていることが確認できる。</p>	<p>7. 鉄筋及び鋼材の品質及び規格が、証明書類で確認できる。</p>	<p>8. クラックが無い。</p>	<p>9. その他(理由)</p>		
<p>【砂防構造物工】</p>	<p>10. コンクリート打設まで、鏽、泥、油等の有害物が、鉄筋に付着しないよう管理していることが確認できる。</p>	<p>11. 鉄筋の組立及び加工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p>	<p>12. 施工基面を平滑に仕上げていることが確認できる。</p>	<p>13. アンカーの施工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p>	<p>14. ボルトの締付確認が実施され、記録を保管していることが確認できる。</p>	<p>15. ボルトの締付機及び測定機器のキヤリアレーションを実施していることが確認できる。</p>
<p>【地すべり防止工(抑止杭、集水井戸工を含む)】</p>	<p>17. アンカーの抑止工の施工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p>	<p>18. ラインナープレートの組み立てにあたり、偏心と歪みに配慮して施工していることが確認できる。</p>	<p>19. ラインナープレートの山と地山との間隙が少なく、角度及び延長が、適正となるように施工上の配慮をしていることが確認できる。</p>	<p>20. 集・排水ボーリング及び補修痕がないことが確認できる。</p>	<p>21. 杭に損傷及び補修痕がないことが確認できる。</p>	<p>22. 杭の水平度、鉛直度等が、設計図書を満足していることが確認できる。</p>
<p>既製杭の打止め</p>	<p>23. 既製杭の打止め管理が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p>	<p>24. 既製杭の溶接の品質管理に関して、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p>	<p>25. 場所打杭の配筋、スペーサーの配置及びコンクリート打設等が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p>	<p>26. その他(理由)</p>		

①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。  
②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として評価計算の値で評価する。  
③評価値(%) = 該当項目数( ) / 対象評価項目数( )  
④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合にはc評価とする。

3.出来形及び出来ばえ

II.品質

砂防  
構造物  
工事  
及び  
地すべり  
防止工事  
(集水井  
戸工事を  
含む)

●判断基準

評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
	50%以下	80%以下	80%を超える	
	90 %以上	a'	b	
75 %以上 90 %未満	a'	b	b'	b
60 %以上 75 %未満	b	b'	c	b'
60 %未満	b'	c	c	c

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。

工種 舗工 工事	工種 舗工 工事	3.出来形及び出来ばえ II.品質	a 評価対象項目の履行状況 (評価値)	b 品質関係の試験結果のばらつきとから判断する。	c 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超え不適合に該当する。	d 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超え不適合に該当する。
		【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ばらつき判断は別紙一4参照。 別紙一3の作成は別紙一5により行う。				
		【評価対象項目】 【路床工・路盤工関係】 <input type="checkbox"/> 1. 設計図書に定められた試験方法で CBR 値を測定していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 2. 路床及び路盤工のプルーフローリングを行っていていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 3. 路床及び路盤工の密度管理が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 4. 路盤の安定処理は、材料が均一になるよう施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 5. 路盤の施工に先立って、路床面、下層路盤面の浮き石及び有害物を除去していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 6. 路床盛土及び路盤工において、設計図書に定められた一層の仕上がりが厚さを満足し、各層毎に締固めて施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 7. 路床盛土において、構造物の隣接箇所や狭い箇所における締固めが、タンバ等の小型締固め機械により施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 8. その他 (理由)				①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として比率 (%) 計算の値で評価する。 ③評価値 ( %) = 該当項目数 ( ) / 対象評価項目数 ( ) ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合にはc評価とする。
		【アスファルト舗装補修工関係】 <input type="checkbox"/> 9. アスファルト舗装物の品質が、配合設計及び試験練りの結果又は事前審査制度の証明書類により確認できる。 <input type="checkbox"/> 10. 舗装工の施工に先立って、上層路盤面の浮き石などの有害物を除去していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 11. プラント出荷時、現場到着時、舗設時毎に、アスファルト混合物の温度管理を記録していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 12. 舗設後の交通開放が、定められた条件を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 13. 各層の継ぎ目の位置が、設計図書の仕様を満足し、定められた数値以上であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 14. 密度管理が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 15. 縦継目及び横継目の位置、構造物との接合面の処理等が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 16. アスファルト混合物の運搬及び舗設にあたって、気象条件を配慮していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 17. その他 (理由)				
		【アスファルト舗装補修工関係】 <input type="checkbox"/> 18. 施工に先立ち、現地を調査し、現況縦横断勾配の修正及び基準高等について、協議していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 19. 舗装工の施工に先立ち、切削後の表面の有害物等を除去し清掃していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 20. 切削後の舗装面のクランクが適正に補修されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 21. 路上再生工の施工にあたって、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 22. その他 (理由)				
		【コンクリート舗装工関係】 <input type="checkbox"/> 23. コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質(強度、水セメント比、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。 <input type="checkbox"/> 24. 舗装工の施工に先立って、上層路盤面の浮き石等の有害物を除去してから施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 25. コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。 <input type="checkbox"/> 26. 曲げ強度試験に使用したコンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。				

- 3.出来形及び出来ばえ  
II.品質
- 装 事  
舗 工
- 27. 施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ、締固め方法及び養生方法が、定められた条件を満足していることが確認できる。(寒中及び暑中コンクリート等を含む)
  - 28. 材料が分離しないようコンクリートを敷均していることが確認できる。
  - 29. チェア及びパイパーを損傷などが発生しないよう保管していることが確認できる。
  - 30. 金網の施工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。)
  - 31. その他(理由 )

●判断基準

	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
	50%以下	80%以下	80%を超える	
評 価 値	90%以上	a'	b	a'
	75%以上 90%未満	a'	b'	b
	60%以上 75%未満	b	b'	c
	60%未満	b'	c	c

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

工種 海岸工事 Ⅱ.品質	工種 海岸工事	a	a'	b	b'	c	d
3.出来形及び出来ばえ Ⅱ.品質	<input type="checkbox"/> 評価対象項目の履行状況（評価値）と品質関係の試験結果のばらつきとから判断する。 <b>【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】</b> ※ばらつきの判断は別紙ー4参照。 別紙ー3の作成は別紙ー5により行う。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格外、試験基準を超える。該当する。	<b>【評価対象項目】</b> <input type="checkbox"/> 1. コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質（強度、水セメント比、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等）が確認できる。 <input type="checkbox"/> 2. コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。 <input type="checkbox"/> 3. 施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ、締め固め方法及び養生方法が、定められた条件を満足していることが確認できる。（寒中及び暑中コンクリート等を含む） <input type="checkbox"/> 4. コンクリートの圧縮強度を管理し、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 5. 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 6. コンクリートの転置及び仮置にあたって、強度確認を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 7. 破損、転倒や崩壊等が無いようコンクリートブロックの仮置を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 8. 捨石基礎の均し面を平坦に仕上げていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 9. 工事期間中、1日1回は潮位観測を実施して記録していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 10. 台風などの異常気象に備えて、施工前に避難場所の確保及び待避設備の対策を講じていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 11. クラックが無い。 <input type="checkbox"/> 12. その他（理由）	ばらつきで判断可能 50%以下 80%以下 80%を超える 判断不可能	ばらつきで判断不可能	ばらつきで判断不可能	ばらつきで判断不可能

① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。  
 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として比率（%）計算の値で評価する。  
 ③ 評価値（%）＝該当項目数（）／対象評価項目数（）  
 ④ なお、削除後の評価はc評価とする。2項目以下の場合はc評価とする。

●判断基準

注 試験結果の打点数等が少なくなればらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。

工法 Ⅱ.品質	工種 Ⅲ.出来形及び出来ばえ	a 評価対象項目の履行状況 (評価値)	b 品質関係の試験結果のばらつきとから判断する。	b' 品質関係の試験結果のばらつきとから判断する。	c 品質関係の試験結果が規格外、試験基準を超える不適合に該当する。	d 品質関係の試験結果が規格外、試験基準を超える不適合に該当する。
<p>【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】                      ※ばらつき判断は別紙-4参照。                      別紙-3の作成は別紙-5により行う。</p>						
<p>【評価対象項目】</p> <p>[共通]</p> <p><input type="checkbox"/> 1. 施工に際して、品質に害となる施工面の浮き石やゴミ等を除去してから施工していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 2. 盛土の施工にあたり、法面の崩壊が起らないよう締めを十分行っていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 3. 雨水による崩壊が起らないように、排水対策を実施していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 4. その他 (理由 )</p> <p>[種子吹付工、客土吹付工、植生基材吹付工関係]</p> <p><input type="checkbox"/> 5. 施工の結果を施工に反映していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 6. 土壌試験の結果に境界に隙間が生じていないことが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 7. ネットなどが破損を生じていないことが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 8. ネットの厚さが、均等であることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 9. 吹付け厚さ、材料の種類、品質及び配合等が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 10. 使用する材料の種類、品質及び配合等が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>[コック その他 (理由 )]</p> <p><input type="checkbox"/> 11. リート又はモルタル吹付工関係]</p> <p><input type="checkbox"/> 12. 使用する材料の種類、品質及び配合等が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 13. 金網の重ね幅が、10cm以上確保されていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 14. 金網が、破損を生じていないことが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 15. 吸水性の吹付け面において、事前に吸水させてから施工していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 16. 吹付け厚さが、均等であることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 17. 吹付け厚さに応じて2層以上に分割して施工していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 18. 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 19. 不良箇所が生じないよう跳ね返り材料の処理を行っていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 20. 法肩の吹付けにあたり、地山に沿って巻き込んで施工していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 21. クラックや剥がれが無い。</p> <p><input type="checkbox"/> 22. その他 (理由 )</p> <p>[現場打設工関係 (プレキャスト法枠工含む)]</p> <p><input type="checkbox"/> 23. 施工面を平滑に仕上げていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 24. 使用する材料の種類、品質及び配合等が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 25. アンカーの施工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 26. 現場養生が、設計図書の仕様を満足するように実施されていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 27. 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 28. 枠内に空隙がないことが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 29. 層間にはく離がないことが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 30. 不良箇所が生じないよう跳ね返り材料の処理を行っていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 31. クラックが無い。</p> <p><input type="checkbox"/> 32. その他 (理由 )</p>						
<p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。</p> <p>② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として比率 (%) 計算の値で評価する。</p> <p>③ 評価値 ( %) = 該当項目数 ( ) / 対象評価項目数 ( )</p> <p>④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合にはc評価とする。</p>						

3.出来形及び  
び出来ばえ

II.品質

面事

[アソカ一、ロックボルト工]

- 3 3. 削孔深さ、配置、せん孔角度が適正であることが確認できる。
- 3 4. 部材に錆、傷がないことが確認できる。
- 3 5. グラウト注人が適正に施工されていることが確認できる。
- 3 6. 緊張、定着、頭部処理が適正であることが確認できる。
- 3 7. 品質試験結果が適切にまとめられていることが確認できる。

●判断基準

	ばらつきで判断可能			ばらつきで 判断不可能
	50%以下	80%以下	80%を超える	
評 価 値	a	a'	b	a'
90 %以上				
75 %以上 90 %未満	a'	b	b'	b
60 %以上 75 %未満	b	b'	c	b'
60 %未満	b'	c	c	c

注 試験結果の打点数等が少なくなればらつきの場合には評価対象項目（評価値）だけで評価する。

工種 基礎工事 工(地盤改良等を含む)	a 評価対象項目の履行状況(評価値)と品質関係の試験結果のばらつきとから判断する。	a' 【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ばらつきの判断は別紙一4参照。 別紙一3の作成は別紙一5により行う。	b 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超える不適合に該当する。	b' 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超える不適合に該当する。	c 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超える不適合に該当する。	d 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超える不適合に該当する。																												
II.品質 3.出来形及び出来ばえ	<input type="checkbox"/> 評価対象項目の履行状況(評価値)と品質関係の試験結果のばらつきとから判断する。 【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ばらつきの判断は別紙一4参照。 別紙一3の作成は別紙一5により行う。	【評価対象項目】 [杭工関係(コンクリート、鋼管、鋼管井筒、場所打、深礎等)] <input type="checkbox"/> 1. 杭に損傷及び補修痕がないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 2. 既製杭の打止め管理の方法及び場所打杭の施工管理の方法が整備されており、その記録を整理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 3. 杭頭処理において、杭本体を損傷していないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 4. 水平度、鉛直度等が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 5. 溶接の品質管理に関して、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 6. 支持地盤に達していること、掘削深さ、掘削土砂等により確認できる。 <input type="checkbox"/> 7. 場所打杭について、トレミー管をコンクリート内に2 m以上挿入して施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 8. 掘削深度、排出土砂、孔内水位の変動及び安定液を用いる場合の孔内の安定液濃度並びに比重等が、設計図書を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 9. 配筋、スペーサの配置及びコンクリート打設等が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 10. ライナープレートなどの組み立てにあたり、偏心と歪みに配慮して施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 11. 裏込材注入の圧力などが施工記録により確認できる。 <input type="checkbox"/> 12. 強度確認、セメントミルクの比重管理などの品質に係わる事項の管理資料を整理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 13. その他(理由) [地盤改良工関係] <input type="checkbox"/> 14. 改良材のバッチ管理記録が整理され、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 15. セメントミルクの比重、スラリー噴出量、強度等の管理資料を整理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 16. 事前に土質試験を実施し、改良材の選定、必要添加量の設定等を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 17. 施工箇所が均一に改良され、十分な強度及び支持力を確保していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 18. その他(理由)	①当該「評価対象項目」のうち、 ②削除対象外の項目は削除する。 ③評価対象目のある場合は削除後の評価項目数を母数として比率(%)計算の値で評価する。 ④なお、削除後の評価対象項目数が対象評価項目数(%)=該当項目数( ) / 対象評価項目数( )	①当該「評価対象項目」のうち、 ②削除対象外の項目は削除する。 ③評価対象目のある場合は削除後の評価項目数を母数として比率(%)計算の値で評価する。 ④なお、削除後の評価対象項目数が対象評価項目数(%)=該当項目数( ) / 対象評価項目数( )	①当該「評価対象項目」のうち、 ②削除対象外の項目は削除する。 ③評価対象目のある場合は削除後の評価項目数を母数として比率(%)計算の値で評価する。 ④なお、削除後の評価対象項目数が対象評価項目数(%)=該当項目数( ) / 対象評価項目数( )	①当該「評価対象項目」のうち、 ②削除対象外の項目は削除する。 ③評価対象目のある場合は削除後の評価項目数を母数として比率(%)計算の値で評価する。 ④なお、削除後の評価対象項目数が対象評価項目数(%)=該当項目数( ) / 対象評価項目数( )																												
	●判断基準	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>a'</td> </tr> <tr> <td>75%以上 90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>60%以上 75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>	評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	a'	75%以上 90%未満	a'	b	b'	b	60%以上 75%未満	b	b'	c	b'	60%未満	b'	c	c	c				
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																														
	50%以下	80%以下	80%を超える																															
90%以上	a	a'	b	a'																														
75%以上 90%未満	a'	b	b'	b																														
60%以上 75%未満	b	b'	c	b'																														
60%未満	b'	c	c	c																														

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

工種 コンクリート 橋工事 (PC (購入桁 を含む )及び RCを 対象) ・コンクリート 製キャスト 工事	a 評価対象項目の履行状況 (評価値) と品質関係の試験結果のばらつきとから判断する。 【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ばらつき判断は別紙一4参照。 別紙一3の作成は別紙一5により行う。	a'	b	b'	c	d 品質関係の試験 結果が規格外、試験 基準を超える不適合に 該当する。
3.出来形及び出来ばえ II.品質	<input type="checkbox"/> 【評価対象項目】 1. コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質 (強度、水セメント比、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等) が確認できる。 2. コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。 3. 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。 4. 施工条件及び気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ、締めめ方法及び養生方法及び養生方法が、定められた条件を満足していることが確認できる。(寒中及び暑中コンクリート等を含む) 5. コンクリートの圧縮強度を管理して、必要な強度に達した後、型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。 6. 鉄筋(PC鋼材含む)の品質及び規格が、証明書類で確認できる。 7. 鉄筋の引張強度及び曲げ強度の試験値が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 8. コンクリート打設までに錆、泥、油等の有害物が鉄筋に付着しないよう管理していることが確認できる。 9. 圧接作業にあたり、作業員の技量確認を行っていることが確認できる。 10. 鉄筋の組立及び加工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 11. コンクリートの養生が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 12. ハーサーの品質及び個数が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 13. プレベーム桁のプレアラクション管理が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 14. 使用する装置及び機器のキヤリブレーションを事前に実施していることが確認できる。 15. PC鋼材の緊張及びグラウト注入管理が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 16. プレストレンディング時のコンクリート圧縮強度が、設計図書の仕様を満足していることが確認確認できる。 17. コンクリート圧縮強度の確認は、構造物と同様な養生条件における供試体を用いていることが確認できる。 18. クラックが無い。 19. その他 (理由 )	① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として比率 (%) 計算の値で評価する。 ③ 評価値 ( %) = 該当項目数 ( ) / 対象評価項目数 ( ) ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合にはc評価とする。	ばらつきで判断可能 50%以下 80%以下 80%を超える	ばらつきで判断可能 80%以下 80%を超える	ばらつきで判断可能 80%以下 80%を超える	ばらつきで判断可能 80%以下 80%を超える

●判断基準

評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
	50%以下	80%以下	80%を超える	
90%以上	a	a'	b	a'
75%以上 90%未満	a'	b	b'	b
60%以上 75%未満	b	b'	c	b'
60%未満	b'	c	c	c

注 試験結果の打点数等が少なくばらつき判断ができない場合は評価対象項目 (評価値) だけで評価する。

工 種 塗装工	Ⅱ.品質	3.出来形及び出来ばえ	a 評価対象項目の履行状況 (評価値) と品質関係の試験結果のばらつきとから判断する。 【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ばらつきの判断は別紙一4参照。 別紙一3の作成は別紙一5により行う。	b b' c	d 品質関係の試験結果が規格外、試験基準を超える。該当する。
<p> <input type="checkbox"/> 評価対象項目の履行状況 (評価値) と品質関係の試験結果のばらつきとから判断する。  <input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格外、試験基準を超える。該当する。                 </p> <p> <b>【評価対象項目】</b>  <input type="checkbox"/> 1. 塗装作業にあたり、塗布面を十分に乾燥させて施工していることが確認できる。  <input type="checkbox"/> 2. ケレンを入念に実施していることが確認できる。  <input type="checkbox"/> 3. 天候状況の確認、気温及び湿度の測定を行い、塗装作業を行っていることが確認できる。  <input type="checkbox"/> 4. 塗料を使用前に攪拌し、容器の塗料を均一な状態にしてから使用していることが確認できる。  <input type="checkbox"/> 5. 鋼材表面及び被塗装面の汚れ、油類等を除去し塗装を行っていることが確認できる。  <input type="checkbox"/> 6. 塗料の空缶管理について、写真等で確実に空であることが確認できる。  <input type="checkbox"/> 7. 塗り残し、ながれ、しわ等がなく塗装されていることが確認できる。  <input type="checkbox"/> 8. 溶接部、ボルトの接合部分、構造の複雑な部分について、必要な塗膜厚を確保していることが確認できる。  <input type="checkbox"/> 9. 塗料の品質が出荷証明書、塗料成績表により、製造年月日、ロット番号、色彩、数量が確認できる。  <input type="checkbox"/> 10. その他 (理由 )                 </p> <p style="text-align: center;">●判断基準</p>					

① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。  
 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として比率 (%) 計算の値で評価する。  
 ③ 評価値 ( %) = 該当項目数 ( ) / 対象評価項目数 ( )  
 ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合にはc評価とする。

	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
	50%以下	80%以下	80%を超える	
評 価 値	a	a'	b	a'
	a'	b	b'	b
	b	b'	c	b'
	b'	c	c	c

注 試験結果の打点数等が少なくなればらつきでの判断ができない場合は評価対象項目 (評価値) だけで評価する。

Ⅱ.品質 3.出来形及び出来ばえ	工種 トンネル工事	a 評価対象項目の履行状況 (評価値)	b 品質関係の試験結果のばらつきとから判断する。	b' 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えない場合に該当する。	d 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えない場合に該当する。
【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ばらつき判断は別紙一4参照。 別紙一3の作成は別紙一5により行う。	【評価対象項目】 <input type="checkbox"/> 1. コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質 (強度、水セメント比、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等) が確認できる。 <input type="checkbox"/> 2. コンクリートの受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ・空気量等の測定結果が確認できる。 <input type="checkbox"/> 3. 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 4. 施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設方法及び締め方法が、定められた条件を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 5. 吹付コンクリートの配合及びロックボルトの種類、規格が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 6. 設計図書に定められた岩区分 (支保工パターン含む) の境界を確認して施工を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 7. 坑内観察調査等について、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 8. 計測管理を日々行っており、その結果に基づいた施工を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 9. 金網の継ぎ目を15cm (一目) 以上重ね合わせて施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 10. 吹付コンクリートの施工にあたって、浮石等を除いた後に、吹付コンクリートの一層の厚さが15cm以下で地山と密着するよう施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 11. 吹付コンクリートを打継ぎする場合は、吹付完了面を清掃した上で、湿潤状態で行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 12. ロックボルトの定着長が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 13. 防水工に防水シートを使用する場合は、ロックボルト等の突起物にモルタルや防護マット等で防護対策を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 14. 逆巻きの場合において、側壁コンクリートとアーチコンクリートの打継目が同一線上で施工していないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 15. クラックが無い。 <input type="checkbox"/> 16. その他 (理由 )	①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として比率 (%) 計算の値で評価する。 ③評価値 ( %) = 該当項目数 ( ) / 対象評価項目数 ( ) ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は評価とする。	ばらつきで判断可能 50%以下 80%以下 80%を超える 判断不可能	ばらつきで 判断不可能 a' b b' b b' c c c	

●判断基準

注 試験結果の打点数等が少なくばらつき判断ができない場合は評価対象項目 (評価値) だけで評価する。

工 種	a	a'	b	b'	c	d
工 種 裁 事	<input type="checkbox"/> 評価対象項目の履行状況（評価値）と品質関係の試験結果のばらつきとから判断する。 <b>【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】</b> ※ばらつき判断は別紙一4参照。 別紙一3の作成は別紙一5により行う。					
工 種 裁 事	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格外、試験基準を超える。該当する。  <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;">                     ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。                      ② 削除対象のある場合、削除後の評価項目数を母数として比率(%)計算の値で評価する。                      ③ 評価値(%) = 該当項目数( ) / 対象評価項目数( )                      ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合にはc評価とする。                 </div>					
考 査 項 目	3. 出来形及び出来ばえ II. 品質					

- 【評価対象項目】**
- 1. 活着が促されるよう管理していることが確認できる。
  - 2. 樹木などに損傷、はちくずれ等がないよう保護養生を行っていることが確認できる。
  - 3. 樹木等の生育に害のある害虫等がないことが確認できる。
  - 4. 施工完了後、余剰枝の剪定、整形その他必要な手入れを行っていることが確認できる。
  - 5. 肥料が、直接樹木の根に触れないよう均一に施肥していることが確認できる。
  - 6. 植生する樹木に応じて、余裕のある植穴を掘り植穴底部を耕していることが確認できる。
  - 7. 添木をぐらつきがないよう設置していることが確認できる。
  - 8. 樹名板を視認しやすい場所に据付けていることが確認できる。
  - 9. その他（理由）

●判断基準

	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
	50%以下	80%以下	80%を超える	
評	90%以上	a'	b	a'
価	75%以上 90%未満	a'	b'	b
値	60%以上 75%未満	b	c	b'
	60%未満	b'	c	c

注 試験結果の打点数等が少なくばらつき判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。

<p>工種 防護柵・標識 区画線 等配置工事</p>	<p>Ⅱ.品質</p>	<p>品質関係の試験結果が規格外、試験基準を超える。該当する。</p>	<p>品質関係の試験結果をb'から判断する。</p>	<p>品質関係の試験結果をcから判断する。</p>	<p>品質関係の試験結果をdから判断する。</p>
<p>【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ばらつきでの判断は別紙一4参照。 別紙一3の作成は別紙一5により行う。</p> <p>【評価対象項目】 [防護柵・標識関係]  <input type="checkbox"/> 1. 防護柵設置要綱、視線誘導標設置基準、道路標識ハンドブック等の規定を満足していることが確認できる。  <input type="checkbox"/> 2. 防護柵等の床掘りの仕上がり面において、地山の乱れや不陸が生じないよう施工していることが確認できる。  <input type="checkbox"/> 3. 防護柵等の基礎工の施工にあたって、無筋及び鉄筋コンクリートの規定を満足していることが確認できる。  <input type="checkbox"/> 4. 防護柵等の支柱の施工にあたって、既設舗装面へ影響がないよう施工していることが確認できる。  <input type="checkbox"/> 5. 基礎設置箇所について、地盤の耐力を把握して、施工していることが確認できる。  <input type="checkbox"/> 6. 防護柵等の支柱の根入長が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。  <input type="checkbox"/> 7. ガードケールを支柱に取付ける場合、設計図書に定められた所定の張力を与えているのが確認できる。  <input type="checkbox"/> 8. ガードケールの端未支柱を土中に設置する場合、打設したコンクリートが設計図書に定められた強度以上であることが確認できる。  <input type="checkbox"/> 9. その他(理由 )</p> <p>[区画線関係]  <input type="checkbox"/> 10. ペイント式(常温式)区画線に使用するシンナーの使用量が、10%以下であることが確認できる。  <input type="checkbox"/> 11. 溶融式、高視認性区画線の施工にあたって、設計図書に定められた温度で施工されていることが確認できる。  <input type="checkbox"/> 12. 区画線の厚さが見本等で設計図書の仕様を満足していることが確認できる。  <input type="checkbox"/> 13. 区画線施工後の屋間及び夜間の視認性が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。  <input type="checkbox"/> 14. 区画線の施工にあたって、設置路面の水分、泥、砂じん及びびりを取り除いて行っていることが確認できる。  <input type="checkbox"/> 15. 区画線を消去の場合、表示材(塗料)のみの除去となっており、路面への影響が最小限となっていることが確認できる。  <input type="checkbox"/> 16. プライマーの施工にあたって、路面に均等に塗布していることが確認できる。  <input type="checkbox"/> 17. 使用材料が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。  <input type="checkbox"/> 18. その他(理由 )  <b>●判断基準</b></p> <p>①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。          ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として比率(%)計算の値で評価する。          ③評価値(%)＝該項目数( ) / 対象評価項目数( )          ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合にはc評価とする。</p>					

評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
	50%以下	80%以下	80%を超える	
90%以上	a	a'	b	a'
75%以上 90%未満	a'	b	b'	b
60%以上 75%未満	b	b'	c	b'
60%未満	b'	c	c	c

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきでの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

工 造 工	種 園 事	a	a'	b	b'	c	d																												
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質		評価対象項目の履行状況 (評価値) と品質関係の試験結果のばらつきとから判断する。 【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ばらつき判断は別紙-4 参照。 別紙-3の作成は別紙-5により行う。																																	
品質関係の試験結果が規格外、試験基準を超える。該当する。		【評価対象項目】 <input type="checkbox"/> 1. 仕様書等で定められている品質管理が実施されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 2. 材料の品質及び形状が設計図書の仕様を満足し、証明書が整備されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 3. 部品の品質及び形状が設計図書の仕様を満足し、証明書が整備されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 4. 遊戯施設等の機能と安全性が設計図書の仕様を満足し、証明書が整備されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 5. 植物、公園資材等による修景効果向上についての配慮が事前に十分検討され、良好に施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 6. その他 (理由 )																																	
		● 判断基準 ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として比率 (%) 計算の値で評価する。 ③ 評価値 ( %) = 該当項目数 ( ) / 対象評価項目数 ( ) ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。																																	
		<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td rowspan="2">評 価 値</td> <td colspan="3">ばらつきで判断可能</td> <td rowspan="2">ばらつきで判断不可能</td> </tr> <tr> <td>50%以下</td> <td>80%以下</td> <td>80%を超える</td> </tr> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>a'</td> </tr> <tr> <td>75%以上 90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>60%以上 75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </table>						評 価 値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	a'	75%以上 90%未満	a'	b	b'	b	60%以上 75%未満	b	b'	c	b'	60%未満	b'	c	c	c
評 価 値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																															
	50%以下	80%以下	80%を超える																																
90%以上	a	a'	b	a'																															
75%以上 90%未満	a'	b	b'	b																															
60%以上 75%未満	b	b'	c	b'																															
60%未満	b'	c	c	c																															
		注 試験結果の打点数等が少なくばらつき判断ができない場合は評価対象項目 (評価値) だけで評価する。																																	

工種	a	a'	b	b'	c	d
3.出来形及び出来ばえ	<input type="checkbox"/> 評価対象項目の履行状況（評価値）と品質関係の試験結果のばらつきとから判断する。					
II.品質	<b>【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】</b> ※ばらつき判断は別紙一4参照。 別紙一3の作成は別紙一5により行う。					
	<b>【評価対象項目】</b>					
<input type="checkbox"/>	1. 品質管理において、設計図書の定めておられるとおりに行われており、かつ満足していることが確認出来る。					
<input type="checkbox"/>	2. 材料の品質及び規格が、設計図書の仕様を満足していることが証明書類で確認できる。					
<input type="checkbox"/>	3. 管渠工の設置において、設計図書の定めのとおり行われていることが確認でき、かつ目立った屈曲や沈下が無いことが確認出来る。					
<input type="checkbox"/>	4. 管渠に影響を与えるクラック及び変形がないことが確認できる。					
<input type="checkbox"/>	5. 管渠において漏水箇所がないことが確認できる。					
<input type="checkbox"/>	6. 管渠止において止水滑材や接着剤等はみ出し等がないことが確認できる。					
<input type="checkbox"/>	7. 管渠継手部及びマンホール連結部の目地仕上げが、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。					
<input type="checkbox"/>	8. 掘進機に関する諸機能等の詳細図、仕様及び応力計算書の提出がされ、確認できる。					
<input type="checkbox"/>	9. 推進管の方向・勾配の測量、路面及び近接構造物の水準測量、ジャッキ等の測定・観測が行われていることが確認できる。					
<input type="checkbox"/>	10. 切羽等の泥水圧または土圧、排土量、推力、管中心位置、掘進量、作業時間等を毎日記録していることが確認できる。					
<input type="checkbox"/>	11. 推進管工等の裏込め材料が十分充填されていることが確認できる。					
<input type="checkbox"/>	12. マンホール工において、連結部には止水シール・止水ゴムが適切に使用されていることが確認できる。					
<input type="checkbox"/>	13. マンホール工において、各部位にはクラック及び漏水がないことが確認できる。					
<input type="checkbox"/>	14. マンホールの足掛金物の位置、方向が適正であり、また、鉄蓋設置においては、ガタツキがなく、仕上がり天端高も適正であることが確認できる。					
<input type="checkbox"/>	15. インバート工は形状、勾配が設計図書の仕様を満足し、漏水がないことが確認できる。					
<input type="checkbox"/>	16. 掘削時の土留め方法は、その表面仕上げが適切であることが確認できる。					
<input type="checkbox"/>	17. 埋戻しにおいて、締め固めが適切な方法で施工されており、工事終了後の沈下が無かつたことが確認できる。					
<input type="checkbox"/>	18. 舗装復旧において、その施工が設計図書の仕様書を満足していることが確認できる。					
<input type="checkbox"/>	19. 立坑等（指定架設物）の施工及び仕様材料において、設計図書の定められているとおりに行われていることが確認できる。					
<input type="checkbox"/>	20. 地盤改良工において、使用材料の管理記録が整理され、品質管理を適切に行っていることが記録で確認でき、設計図書の使用が満足していることが確認できる。					
<input type="checkbox"/>	22. クラックが無い。					
<input type="checkbox"/>	23. その他（理由）					

①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。  
 ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。  
 ③評価値(%)＝該当項目数( ) / 対象評価項目数( )  
 ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合にはc評価とする。

3.出来形及び出来ばえ

下水道工事

II.品質

●判断基準

	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
	50%以下	80%以下	80%を超える	
評価値	90%以上	a'	b	a'
	75%以上 90%未満	a'	b'	b
	60%以上 75%未満	b	b'	b'
	60%未満	b'	c	c

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。

工種 港湾築造工事 (浚渫、築岸工事を含む)	a	a'	b	b'	c	d
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	<input type="checkbox"/> 評価対象項目の履行状況 (評価値) と品質関係の試験結果のばらつきとから判断する。 <b>【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】</b> ※ばらつき判断は別紙一4参照。 別紙一3の作成は別紙一5により行う。					<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超え不適合に該当する。
	<b>【評価対象項目】</b> [共通] <input type="checkbox"/> 1. 濁り防止等環境保全に十分注意して施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 2. 既設構造物に影響のないよう十分検討して施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 3. 航行船舶に影響のないよう十分検討して施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 4. 材料等品質に異常値が想定される場合、品質確認に必要な試験等が行われていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 5. 気象・海象を十分調査して施工上の注意事項が守られていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 6. 設計図書に定められた施工上の注意事項が守られていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 7. 作業船が十分管理下におかれ、統率されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 8. その他(理由)					① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(%) = 該当項目数( ) / 対象評価項目数( ) ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合にはc評価とする。

3. 出来形及び出来び  
II. 品質  
港湾築造工事  
(浚渫、築岸工事を含む)

- [地盤改良関係]
- 2.3. 改良材料の管理記録が整理され、品質管理を適切に行っていることが記録で確認でき、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
  - 2.4. 浮泥を巻き込まないよう置換材を投入していることが確認できる。
  - 2.5. サンドレーンが計画深度まで破損なく正常に形成されていることが打込記録等により確認できるとともに、サンドレーンが計画深度より確認できる。
  - 2.6. 打設を完了したバドレーンの頭部が保護され、排水効果が維持され、確認できるとともに、深層混合処理の改良工法について、記録から設計図書に定められている事項が確認できる。
  - 2.7. 前記以外の状況確認及び管理を適切に行っていることが記録で確認できる。
  - 2.8. 盛上り土の状況確認及び管理を適切に行っていることが記録で確認できる。
  - 2.9. 捨石、被覆石等の石材は、扁平細長でなく、風化凍壊の恐れのないものを使用されていることが確認できる。
  - 3.0. 施工面から浮泥等の品質の害となるものを除去してから施工されていることが確認できる。
  - 3.1. 施工面の被覆及び根固め石の施工が平滑に仕上げられていることが確認できる。
  - 3.2. 捨石、被覆石、その他（理由）
  - 3.3. 捨石、被覆石、その他（理由）
  - 3.4. 捨石、被覆石、その他（理由）
  - 3.5. マット、捨石、被覆石など材料の規格・品質が試験成績表等（現物照合を含む）で確認できる。
  - 3.6. マットが破損なく所定の幅で重ね合わせられていることが写真記録等により確認できる。
  - 3.7. 捨石、被覆石、被覆め石がゆるみのないよう堅固に施工され、記録により確認できる。
  - 3.8. 裏込めが既設構造物及び砂防目地板の破損がなく、記録により確認できる。
  - 3.9. その他（理由）
  - [本体：杭及び矢板、控工関係]
  - 4.0. 鋼材の規格・数量が試験成績表等（現物照合を含む）で確認できる。
  - 4.1. 鋼材の保管に当たり、変形及び塗覆面に損傷を与えないよう、適切に処理されていることが確認できる。
  - 4.2. 杭及び矢板の損傷や修復痕がなく施工されていることが確認できる。
  - 4.3. 杭及び矢板の打止め施工管理方法等が整備され、かつ記録が確認できる。
  - 4.4. 腹起し材を全長にわたる水平高さに取り付け、ボルトで十分締め付け矢板壁に密着させていることが確認できる。
  - 4.5. タイロッドは隅角部等特別な場合を除き矢板法線に対して直角に設置されていることが確認できる。
  - 4.6. 溶接及び切断の品質管理に関して設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
  - 4.7. その他（理由）
  - [本体：ケーソン据付関係]
  - 4.8. ケーソン据付に先立ち、仮置作業が所定の位置に異ならなく行われていることが確認できる。
  - 4.9. ケーソン据付に先立ち、気象、海象等を十分調査し、据付作業が所定の精度で行われていることが確認できる。
  - 4.10. ケーソン据付等及び中詰において、ケーソンおよび既設構造物等の破損がなく施工されていることが確認できる。
  - 5.0. コリトブ据付に先立ち、気象、海象等を十分調査し、据付作業が所定の精度で行われていることが確認できる。
  - 5.1. プロックン等において、プロックン及び既設構造物等の破損がなく施工されていることが確認できる。
  - 5.2. ケーソン航に先立ち、気象、海象等を十分調査し、適切な時期を選定されていることが確認できる。
  - 5.3. ケーソン航に先立ち、上蓋、安全ネット又は吊り足場等を設置し、墜落防止の措置を講じていることが確認できる。
  - 5.4. ケーソン注水時の隔壁の水頭差が1m以内になるように管理されていることが確認できる。
  - 5.5. ケーソン仮置き、据付の時期について、設計図書を満足するよう実施されていることが確認できる。
  - 5.6. ケーソン中詰において、海上漏出がないように施工されていることが確認できる。
  - 5.7. その他（理由）
  - 5.8. その他（理由）

3.出来形及び出来ばえ

II.品質

港湾築造工事  
(浚渫、築岸工事、築造工事を含む)

[コンクリート関係]

- 59. コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質（強度、水セメント比、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等）が確認できる。
- 60. コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。
- 61. 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。
- 62. 圧縮条件や気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ、締めめ方法及び養生方法が、定められた条件を満足していることが確認できる。（寒中及び暑中コンクリート等を含む）
- 63. コンクリートの圧縮強度を管理し、必要な強度に達した後、型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。
- 64. コンクリートの打設前に、打継ぎ目処理を適正に行っていることが確認できる。
- 65. 鉄筋（PC鋼材含む）の品質が、証明書類で確認できる。
- 66. 鉄筋の引張強度及び曲げ強度の試験値が、設計図書が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
- 67. コンクリート打設までに錆、泥、油等の有害物が鉄筋に付着しないよう管理していることが確認できる。
- 68. 鉄筋の組立及び加工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
- 69. 圧接作業にあたり、作業員の技量を確保していることが確認できる。
- 70. コンクリートの養生が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
- 71. スパルサーの品質及び個数が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
- 72. スパルサーを適切に配置し、鉄筋の破りを確保していることが確認できる。
- 73. プレベーム桁のプレフレックスマシン管理が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
- 74. 使用する装置及び機器のキヤリブレーションを事前に実施していることが確認できる。
- 75. PC鋼材の緊張及びグラウト注入管理値が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
- 76. プレストレンシング時のコンクリート圧縮強度が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
- 77. その他（理由）

●判断基準

評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
	50%以下	80%以下	80%を超える	
90%以上	a	a'	b	a'
75%以上 90%未満	a'	b	b'	b
60%以上 75%未満	b	b'	c	b'
60%未満	b'	c	c	c

注 試験結果の打点数等が少なくばらつき判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。

工種 改良舗装工事	工種 改良舗装工事	a 評価対象項目の履行状況 (評価値)	b 品質関係の試験結果のばらつきとから判断する。	c 品質関係の試験結果が規格外、試験基準を超える不適合に該当する。	d 品質関係の試験結果が規格外、試験基準を超える不適合に該当する。
3.出来形及び出来ばえ II.品質		評価対象項目の履行状況 (評価値) と品質関係の試験結果のばらつきとから判断する。 <b>【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】</b> ※ばらつき判断は別紙一4参照。 別紙一3の作成は別紙一5により行う。			
		<b>【評価対象項目】</b> [共通] <input type="checkbox"/> 1. 施工基面が平滑に仕上げられていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 2. 使用する材料の規格がミルシート等で確認できる。 [土工・路盤関係] <input type="checkbox"/> 3. 段切りを設計図書に基づき行っていることが確認できる。掘削面以下を乱さないよう置き換えを行うに当たり、掘削面以下を乱さないよう設計図書に定めることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 4. 設計図書に定められた試験方法でC.B.R.値を測定していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 5. 設計図書の密度管理が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 6. 路床・路盤工のブルーフローリングを行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 7. 路床及び路盤工のブルーフローリングを行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 8. 路盤工の施工に先だつて、路床面、下層路盤面の浮き及び有害物を除去してから施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 9. 構造物周辺の締固めを設計図書に定められた条件で行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 10. 盛土及び路盤工において、設計図書に定められた一層の仕上がり厚さを満足し、各層毎に締固めて施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 11. 補強盛土工等の施工について、設計図書の定めのとおり施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 12. その他 (理由) [コンクリート関係] <input type="checkbox"/> 13. コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質(強度、水セメント比、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。 <input type="checkbox"/> 14. コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。 <input type="checkbox"/> 15. 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 16. 施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ、締固め方法及び養生方法が、定められた条件を満足していることが確認できる。(寒中及び暑中コンクリート等を含む) <input type="checkbox"/> 17. その他 (理由) [芝・側溝等・付帯構造物等関係] <input type="checkbox"/> 18. 芝又は側溝等を適切に施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 19. 法面にクラックや損傷部がないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 20. 側溝等にクラックや欠損がないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 21. 側溝等の施工(設置)位置・方向が適正で、蓋設置においてはガタツキが無いことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 22. 側溝等底部の施工(設置)位置・方向が適正で、蓋設置においてはガタツキが無いことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 23. 側溝等底部の施工(設置)位置・方向が適正で、蓋設置においてはガタツキが無いことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 24. 側溝等底部の施工(設置)位置・方向が適正で、蓋設置においてはガタツキが無いことが確認できる。	① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(%) = 該当項目数( ) / 対象評価項目数( ) ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合にはc評価とする。		

3.出来形及び出来ばえ  
II.品質

良、装事  
改舗工

- [アスファルト舗装関係]  
 25. アスファルト混合物の品質が、配合設計及び試験練りの結果又は事前審査制度の証明書類により確認できる。  
 26. 舗装工の施工に先だつて、上層路盤面の浮き石などの有害物を除去してから施工していることが確認できる。  
 27. フラント出荷時・現場到着時・舗設時において、アスファルト混合物の温度管理を記録していることが確認できる。  
 28. 舗設後の交通解放が、定められた条件を満足していることが確認できる。  
 29. 各層の継ぎ目の位置が、設計図書に定められていることが確認できる。  
 30. 密度管理が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。  
 31. 縦目地及び横目地の位置・構造物との接合面の処理が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。  
 32. アスファルト混合物の運搬及び舗設にあつて、気象条件を配慮していることが確認できる。  
 33. その他（理由）

● 判断基準

	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
	50%以下	80%以下	80%を超える	
90 %以上	a	a'	b	a'
75 %以上 90 %未満	a'	b	b'	b
60 %以上 75 %未満	b	b'	c	b'
60 %未満	b'	c	c	c
評 価 値				

注 試験結果の打点数等が少なくなればらつき判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。

工種 橋補工 梁修事	工種 橋補工 梁修事	a 評価対象項目の履行状況 (評価値) と品質関係の試験結果のばらつきとから判断する。	b 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超える不適合に該当する。	c 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超える不適合に該当する。	d 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超える不適合に該当する。
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	<input type="checkbox"/> 評価対象項目の履行状況 (評価値) と品質関係の試験結果のばらつきとから判断する。 <b>【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】</b> ※ばらつき判断は別紙一4参照。 別紙一3の作成は別紙一5により行う。	<input type="checkbox"/> 評価対象項目の履行状況 (評価値) と品質関係の試験結果のばらつきとから判断する。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超える不適合に該当する。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超える不適合に該当する。	<p><b>【評価対象項目】</b></p> <p>[共通]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 1. 工事を実施する前に現場調査を十分調査し、実態にあった補修方法を選択し、監督員と協議して行っていること確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 2. 補修時の天候状況の確認、気温及び湿度の測定を行い、施工していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 3. 使用材料の品質及び規格について、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 4. 施工状況の経過が写真等で確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 5. クラックや破損が無い。</li> <li><input type="checkbox"/> 6. その他 (理由 )</li> </ul> <p>[コンクリート補修]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 7. コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質 (強度、水セメント比、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等) が確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 8. コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 9. 施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ、締め方法及び養生方法が、定められた条件を満足していることが確認できる。(寒中及び暑中コンクリート等を含む)</li> <li><input type="checkbox"/> 10. 錆汁や鉄筋が露出し錆が確認されている箇所は、確実に錆を落とし、防錆材を塗布して補修していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 11. 鉄筋が錆びて鉄筋断面がやせ細っている箇所は、補強鉄筋が実施されることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 12. その他 (理由 )</li> </ul> <p>[塗装補修]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 13. 塗装作業にあたり、塗布面を十分に乾燥させて施工していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 14. ケレンを実施していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 15. 塗料を使用前に攪拌し、容器の塗料を均一な状態にしてから使用していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 16. 鋼材表面及び被塗装面の汚れ、油類等を除去し塗装を行っていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 17. 塗料の空缶管理について、写真等で確実に空であることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 18. 塗料の塗り残し、しわ等がなく塗装されていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 19. 塗料の品質が出荷証明書、塗料成績表により、製造年月日、ロット番号、色号、数量が確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 20. その他 (理由 )</li> </ul> <p>[舗装補修]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 21. アスファルト混合物の品質が、配合設計及び試験練りの結果又は事前審査制度の証明書類により確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 22. プラント出荷時、現場到着時、舗設時毎において、アスファルト混合物の温度管理を記録していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 23. 舗設後の交通開放が、定められた条件を満足していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 24. アスファルトの密度管理が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 25. アスファルト混合物の運搬及び舗設にあたって、気象条件を配慮していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 26. その他 (理由 )</li> </ul> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。                      ②削除対象のある場合は削除後の評価項目数を母数として比率 (%) 計算の値で評価する。                      ③評価値 ( %) = 該当項目数 ( ) / 対象評価項目数 ( )                      ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</p> </div>

3.出来形及び出来ばえ  
II.品質

梁 修 事  
橋 補 工

- [高欄補修]  
 27. アンカーの深さ管理について、設計図書の定めのとおり施工されていることが確認できる。  
 28. アンカー鉄筋の削孔により、既存地覆鉄筋に支障が無いように事前調査が確実に実施されていることが確認できる。  
 29. 支柱の配置が適切に行われ、レールの通りが良いことが確認できる。)  
 30. その他 (理由)  
 [支承補修]  
 31. 支承の交換に必要な部品等が適正に材料換収され、その記録が整理されていることが確認できる。  
 32. 桁のジャッキアップに必要な仮設ブラケット等の撤去後の復旧が適正に実施されていることが確認できる。  
 33. 無収縮モルタルについて、事前に品質試験 (証明書も可) が実施されていることが確認できる。  
 34. アンカーボルトの削孔長が、設計図書の定めのとおり施工されていることが確認できる。  
 35. しゅう座モルタルの仕上げが丁寧であることが確認できる。  
 36. その他 (理由)  
 [伸縮装置補修]  
 37. アンカーの深さ管理について、設計図書の定めのとおり施工されていることが確認できる。  
 38. アンカー鉄筋の削孔により、床版鉄筋に支障が無いように事前調査が確実に実施されていることが確認できる。  
 39. 伸縮装置の遊間管理が、設計図書の定めのとおり行われていることが確認できる。  
 40. 製品が錆等により腐食していないことが確認できる。  
 41. その他 (理由)

● 判断基準

	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
	50%以下	80%以下	80%を超える	
評 価 値	90 %以上	a'	b	a'
	75 %以上 90 %未満	a'	b'	b
	60 %以上 75 %未満	b	b'	b'
	60 %未満	b'	c	c

注 試験結果の打点数等が少なくなればらつきでの判断ができない場合は評価対象項目 (評価値) だけで評価する。

工種 I.品質	I.品質	a	a'	b	b'	c	d
3.出来形及び出来ばえ	<input type="checkbox"/> 評価対象項目の履行状況（評価値）と品質関係の試験結果のばらつきとから判断する。 <b>【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】</b> ※ばらつき判断は別紙ー4参照。 別紙ー3の作成は別紙ー5により行う。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格外、試験に該当する。					
II.品質	<b>【評価対象項目】</b> <b>【共通】</b> <input type="checkbox"/> 1. 材料の品質証明書が整備されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 2. 鋼材の規格が、ミルシートで確認できる。 <input type="checkbox"/> 3. その他（理由） <b>【落石防止網工】</b> <input type="checkbox"/> 4. アンカーの削孔深さ、削孔角度が適正であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 5. 接合ボルトの締付けが適正であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 6. 金網の重ね幅が仕様書又は協議等により定められた幅以上確保されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 7. 金網、ワイヤロープ等の配置が適正であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 8. アンカーの品質試験結果が適切にまとめられていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 9. その他（理由） <b>【落石防護柵工】</b> <input type="checkbox"/> 10. 製品の性能、寸法が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 11. 接合ボルトの締付けが適正であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 12. 基礎設置箇所について、地盤の耐力を把握して、施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 13. 基礎部の施工が適正で、品質が確認できる。 <input type="checkbox"/> 14. 切土法面が適切に処理されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 15. その他（理由） <b>【防雪柵工】</b> <input type="checkbox"/> 16. 製品の性能、寸法が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 17. 接合ボルトの締付けが適正であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 18. 基礎設置箇所について、地盤の耐力を把握して、施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 19. 基礎部の施工が適正で、品質が確認できる。 <input type="checkbox"/> 20. その他（理由） <b>【雪崩予防柵工】</b> <input type="checkbox"/> 21. 製品の性能、寸法が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 22. 接合ボルトの締付けが適正であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 23. 基礎設置箇所について、地盤の耐力を把握して、施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 24. 基礎部の施工が適正で、品質が確認できる。 <input type="checkbox"/> 25. アンカーの品質試験結果が適切にまとめられていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 26. その他（理由） <b>【アンカー、ロックボルト工】</b> <input type="checkbox"/> 27. 削孔深さ、配置、せん孔角度が適正であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 28. 部材に錆、傷がないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 29. グラウト注着、入りが適正に施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 30. 緊張、定着、頭部処理が適正であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 31. 品質試験結果が適切にまとめられていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 32. その他（理由） 次ページに続く	<b>【評価対象項目】</b> <b>【共通】</b> <input type="checkbox"/> 1. 材料の品質証明書が整備されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 2. 鋼材の規格が、ミルシートで確認できる。 <input type="checkbox"/> 3. その他（理由） <b>【落石防止網工】</b> <input type="checkbox"/> 4. アンカーの削孔深さ、削孔角度が適正であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 5. 接合ボルトの締付けが適正であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 6. 金網の重ね幅が仕様書又は協議等により定められた幅以上確保されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 7. 金網、ワイヤロープ等の配置が適正であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 8. アンカーの品質試験結果が適切にまとめられていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 9. その他（理由） <b>【落石防護柵工】</b> <input type="checkbox"/> 10. 製品の性能、寸法が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 11. 接合ボルトの締付けが適正であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 12. 基礎設置箇所について、地盤の耐力を把握して、施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 13. 基礎部の施工が適正で、品質が確認できる。 <input type="checkbox"/> 14. 切土法面が適切に処理されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 15. その他（理由） <b>【防雪柵工】</b> <input type="checkbox"/> 16. 製品の性能、寸法が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 17. 接合ボルトの締付けが適正であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 18. 基礎設置箇所について、地盤の耐力を把握して、施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 19. 基礎部の施工が適正で、品質が確認できる。 <input type="checkbox"/> 20. その他（理由） <b>【雪崩予防柵工】</b> <input type="checkbox"/> 21. 製品の性能、寸法が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 22. 接合ボルトの締付けが適正であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 23. 基礎設置箇所について、地盤の耐力を把握して、施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 24. 基礎部の施工が適正で、品質が確認できる。 <input type="checkbox"/> 25. アンカーの品質試験結果が適切にまとめられていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 26. その他（理由） <b>【アンカー、ロックボルト工】</b> <input type="checkbox"/> 27. 削孔深さ、配置、せん孔角度が適正であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 28. 部材に錆、傷がないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 29. グラウト注着、入りが適正に施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 30. 緊張、定着、頭部処理が適正であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 31. 品質試験結果が適切にまとめられていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 32. その他（理由） 次ページに続く				①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として比率（%）計算の値で評価する。 ③評価値（%）＝該当項目数（）／対象評価項目数（） ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合にはc評価とする。	

3.出来形及び出来ばえ  
II.品質

落石及び雪防止工事

●判断基準

	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
	50%以下	80%以下	80%を超える	
評価値	90 % 以上	a'	b	a'
	75 % 以上 90 % 未満	a'	b'	b
	60 % 以上 75 % 未満	b	b'	b'
	60 % 未満	b'	c	c

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。

<p>工種 電線共同溝工事</p> <p>II.品質</p>	<p>工種 電線共同溝工事</p>	<p>品質関係の試験結果が規格外、試験基準を超える。該当する。</p>	<p>品質関係の試験結果のばらつきとから判断する。</p>	<p>品質関係の試験結果のばらつきとから判断する。</p>	<p>品質関係の試験結果のばらつきとから判断する。</p>	<p>品質関係の試験結果のばらつきとから判断する。</p>	<p>品質関係の試験結果のばらつきとから判断する。</p>																																			
<p>3.出来形及び出来ばえ</p>		<p>【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ばらつき等の判断は別紙-4 参照。 別紙-3の作成は別紙-5により行う。</p> <p>【評価対象項目】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 1. 使用材料の品質及び規格が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 2. 施工基面が平滑に仕上げられていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 3. 管路の通過試験を行っており、試験結果から導通していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 4. 構造物の埋戻しにおいて、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 5. 特殊部等の施工において、隣接する各ブロックに目違いによる段差及び蛇行等がないよう敷設していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 6. 蓋の設置において、ガタツキ等が無く敷設されていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 7. 管埋設において、それぞれの管の最小曲げ半径を満足していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 8. 管枕及び埋設シートの設置及び土被りが、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 9. その他(理由 )</li> </ol> <p>● 判断基準</p> <p>①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。                  ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として比率(%)計算の値で評価する。                  ③評価値(%) = 該当項目数( ) / 対象評価項目数( )                  ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合にはc評価とする。</p>																																								
		<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th colspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> <th>80%を超える</th> <th>判断不可能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>a'</td> <td>a'</td> </tr> <tr> <td>75%以上 90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>60%以上 75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>						評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能		50%以下	80%以下	80%を超える	80%を超える	判断不可能	90%以上	a	a'	b	a'	a'	75%以上 90%未満	a'	b	b'	b	b	60%以上 75%未満	b	b'	c	c	b'	60%未満	b'	c	c	c	c
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																						
	50%以下	80%以下	80%を超える	80%を超える	判断不可能																																					
90%以上	a	a'	b	a'	a'																																					
75%以上 90%未満	a'	b	b'	b	b																																					
60%以上 75%未満	b	b'	c	c	b'																																					
60%未満	b'	c	c	c	c																																					

注 試験結果の打点数等が少なくばらつき等の判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

工 種 持 續 事 業 工 程 修 工	種 持 續 事 業 工 程 修 工	a	a'	b	b'	c	d
3.出来形及び出来ばえ II.品質	評価対象項目の履行状況 (評価値) と品質関係の試験結果のばらつきとから判断する。 【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ばらつきの判断は別紙-4 参照。 別紙-3 の作成は別紙-5 により行う。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格外、試験基準を超える不適合に該当する。					

【評価対象項目】

- 理由: \_\_\_\_\_
- 理由: \_\_\_\_\_
- 理由: \_\_\_\_\_
- 理由: \_\_\_\_\_
- 理由: \_\_\_\_\_
- 理由: \_\_\_\_\_
- 理由: \_\_\_\_\_
- 理由: \_\_\_\_\_

①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。  
 ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として比率 (%) 計算の値で評価する。  
 ③評価値 ( %) = 該当項目数 ( ) / 対象評価項目数 ( )  
 ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合にはc評価とする。

● 判断基準

評価値	ばらつきで判断可能		ばらつきで判断不可能
	50%以下	80%以下	
90%以上	a	a'	a'
75%以上 90%未満	a'	b	b
60%以上 75%未満	b	b'	b'
60%未満	b'	c	c

注 試験結果の打点数等が少なくなればらつきの判断ができない場合は評価対象項目 (評価値) だけで評価する。



工種	a	a'	b	b'	c	d
3. 出来形及び出来はえ	<input type="checkbox"/> 品質が特に優れている <input type="checkbox"/> 品質が優れている	<input type="checkbox"/> 品質が優れている <input type="checkbox"/> 品質が優れている	<input type="checkbox"/> 品質が特に良好である <input type="checkbox"/> 品質が良好である	<input type="checkbox"/> 品質が適切である <input type="checkbox"/> 品質が適切である	<input type="checkbox"/> 品質が適切でなく不適合に該当する <input type="checkbox"/> 品質が不適切であつたため、工事請負契約書に基づき補指示を検査員が行った。	<input type="checkbox"/> 1. 品質が不適切であつたため、工事請負契約書に基づき補指示を検査員が行った。 <input type="checkbox"/> 2. その他
II. 品質	● 評価対象項目 <input type="checkbox"/> 1. 材料・製品の品質が、製作図等により確認でき、記録の方法が適切であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 2. 施工の各段階における完了時の試験及び記録の方法が、適切であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 3. 材料の品質確認記録の内容が、適切であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 4. 品質の確認結果が、分りやすく整理されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 5. 施工の品質が適切であり、設計図書を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 6. 器具、ユニット等の性能及び機能に関する確認方法が適切であり、記録の内容が設計図書を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 7. 躯体工事における施工の品質が、施工記録等により確認でき、良好であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 8. 内外仕上げ工事における施工の品質が、施工記録等により確認でき、良好であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 9. その他の工事（躯体・内外仕上げを除く）における施工の品質が、施工記録等により確認でき、良好であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 10. 不可視部分となる品質が、工事写真、施工記録により確認できる。 <input type="checkbox"/> 11. 中間検査や既済検査での工夫や良好な施工の品質が、継続して確認できる。 <input type="checkbox"/> 12. その他	● 判断基準 該項目が90%以上 該項目が80%以上90%未満 該項目が70%以上80%未満 該項目が60%以上70%未満 該項目が60%未満	<input type="checkbox"/> 1. 目的物の品質の水準を評価すること。 <input type="checkbox"/> 2. 品質の対象は、「材料、機材」と「施工が完了したもの（システムを含む）」があり、工事目的物の品質及び品質管理に関する各種の記録と設計図書を対比することにより技術的な評価を行う。 <input type="checkbox"/> 3. 外欄には、「評価対象項目」のうち、評価出来ればを記入し、「評価対象外項目」は一を記入する。 <input type="checkbox"/> 4. 削除項目（「評価対象外項目」のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 <input type="checkbox"/> 5. 評価値(%) = (評価数( ) / 対象評価項目数( )) × 100 <input type="checkbox"/> 6. 建築工事・電気設備工事・暖冷房衛生設備工事等が2工種以上複合している工事については、それぞれの工種毎に評価し、工事費内訳による加重平均などの方法によってよいものとする。			

工種	a	a'	b	b'	c	d
電気設備工事	<input type="checkbox"/> 品質が特に優れている	<input type="checkbox"/> 品質が優れている	<input type="checkbox"/> 品質が特に良好である	<input type="checkbox"/> 品質が良好である	<input type="checkbox"/> 品質が適切である	<input type="checkbox"/> 品質が適切でなく不適合に該当する
通信設備工事	<input type="checkbox"/> 品質が特に優れている	<input type="checkbox"/> 品質が優れている	<input type="checkbox"/> 品質が特に良好である	<input type="checkbox"/> 品質が良好である	<input type="checkbox"/> 品質が適切である	<input type="checkbox"/> 品質が適切でなく不適合に該当する
II.品質	<p>●評価対象項目</p> <p>1. 機材の品質が、承諾図等により確認でき、設計図書を満たしていることが確認できる。</p> <p>2. 施工の各段階における品質確認結果が、適切であることが確認できる。</p> <p>3. 機材の品質確認結果が、分りやすく整理されていることが確認できる。</p> <p>4. 品質の品質が適切であり、試験や検査の結果の記録により、優れていることが確認できる。</p> <p>5. 施工の品質が、試験や検査の結果の記録により、記録の内容が、設計図書を満足していることが確認できる。</p> <p>6. システムの性能及び機能に関する試験や検査の結果の記録が、試験や検査の結果の記録により、記録の内容が、設計図書を満足していることが確認できる。</p> <p>7. システムの性能及び機能に関する試験や検査の結果の記録が、試験や検査の結果の記録により、記録の内容が、設計図書を満足していることが確認できる。</p> <p>8. システムの性能及び機能に関する試験や検査の結果の記録が、試験や検査の結果の記録により、記録の内容が、設計図書を満足していることが確認できる。</p> <p>9. 不可視部分や既設点検上の表示及び危険箇所などの表示等が明確で解りやすい。</p> <p>10. 中間検査や既設点検上の表示及び危険箇所などの表示等が明確で解りやすい。</p> <p>11. 運転・点検の理由</p> <p>12. その他</p>					
3.出来形及び出来ばえ	<p>●判断基準</p> <p>該項目が90%以上 . . . . . a'</p> <p>該項目が80%以上90%未満 . . . . . a</p> <p>該項目が70%以上80%未満 . . . . . b'</p> <p>該項目が60%以上70%未満 . . . . . b</p> <p>該項目が60%未満 . . . . . c</p>					
<p>①目的物の品質の水準を評価すること。</p> <p>②品質の対象は、「材料、機材」と「施工が完了したもの(システムを含む)」があり、工事目的物の品質及び品質管理に関する各種の記録と設計図書を対比することにより技術的な評価を行う。</p> <p>③「評価対象項目」のうち、評価出来ればレを記入し、「評価対象外項目」は一を記入する。</p> <p>④削除項目(「評価対象外項目」のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。</p> <p>⑤評価値(%) = (評価数( ) / 対象評価項目数( )) × 100</p> <p>⑥建築工事・電気設備工事・暖冷房衛生設備工事等が2工種以上複合している工事については、それぞれの工種毎に評価し、工事費内訳による加重平均などの方法によってよいものとする。</p>						

工種	a	a'	b	b'	c	d
3. 出来形及び出来ばえ	<input type="checkbox"/> 品質が特に優れている <input checked="" type="checkbox"/> 評価対象項目 1. 機械の品質が、承諾図等により確認でき、設計図書が満足していること 2. 施工の品質確認結果が、適切であること 3. 機械の品質が、整理され、確認できること 4. 品質の確認結果が、分り、設計図書を満足していること 5. 施工の品質が、試験や検査等において、優れていること 6. 施工の品質が、試験や検査の結果、記録の内容が、設計図書に満足していること 7. システムの性能及び機能に関する試験結果が、試験や検査の結果、記録の内容が、設計図書を満足していること 8. システムの性能及び機能に関する試験結果が、試験や検査の結果、記録の内容が、設計図書を満足していること 9. 不可視部分や既済検査及び危険箇所などの表示等が明確であること 10. 中間検査や既済検査及び危険箇所などの表示等が明確であること 11. 運転・点検上の理由 12. その他	<input type="checkbox"/> 品質が優れている <input type="checkbox"/> 品質が特に良好である	<input type="checkbox"/> 品質が良好である <input type="checkbox"/> 品質が特に良好である	<input type="checkbox"/> 品質が適切である <input type="checkbox"/> 品質が特に適切である	<input type="checkbox"/> 品質が適切でなく不適合に該当する <input type="checkbox"/> 品質が不適切である	<input type="checkbox"/> 1. 品質が不適切であったため、工事請負契約書に基づき、修補指示を検査員が行った。 <input type="checkbox"/> 2. その他
II. 品質	<input checked="" type="checkbox"/> 判断基準 該項目が90%以上 該項目が80%以上90%未満 該項目が70%以上80%未満 該項目が60%以上70%未満 該項目が60%未満	<input type="checkbox"/> a <input type="checkbox"/> a' <input type="checkbox"/> b <input type="checkbox"/> b' <input type="checkbox"/> c	① 目的物の品質の水準を評価すること。 ② 品質の対象は、「材料、機材」と「施工が完了したものの（システムを含む）」があり、工事目的物の品質及び品質管理に関する各種の記録と設計図書を対比することにより技術的な評価を行う。 ③ 「欄」には、「評価対象項目」のうち、評価出来ればを記入し、「評価対象外項目」は一を記入する。 ④ 削除項目（「評価対象外項目」のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ⑤ 評価値(%) = (評価項目数 / 対象評価項目数) × 100 ⑥ 建築工事・電気設備工事・暖冷房衛生設備工事等が2工種以上複合している工事については、それぞれの工種毎に評価し、工事費内訳による加重平均などの方法によってよいものとする。			

工 種 管 類 布 設 工 事 Ⅱ.品質	a 評価対象項目の履行状況 (評価値) と品質関係の試験結果のばらつきとから判断する。 【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ばらつきの判断は別紙ー4 参照。 別紙ー3の作成は別紙ー5により行う。	b b'	c c'	d 品質関係の試験結果が規格外、試験基準を超える不適合に該当する。
----------------------------------	--	---------	---------	--------------------------------------

【評価対象項目】

- 1. 設計図書等で示す条件により締固めが実施されていることが確認できる。
- 2. 管の両側が均等に埋め戻されていることが確認できる。
- 3. 地盤面、基盤面に不陸が生じていないことが確認できる。
- 4. 管布設は (原則として) 低位部から高位部へ向かって施工していることが確認できる。
- 5. 管の吊り込み、据付けの際に常に十分な注意を払っていることが確認できる。
- 6. リリーフ構造物にきめ細やかな施工がうかがえる。
- 7. 付帯構造物 (排気弁や仕切弁、マンホール等) の維持管理が容易になるように配慮し、適切に施工していることが確認できる。
- 8. コンクリート付帯構造物にはクラックがない。
- 9. その他 (理由: )

①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。  
 ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として比率 (%) 計算の値で評価する。  
 ③評価値 ( %) = 該当項目数 ( ) / 対象評価項目数 ( )  
 ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合にはc評価とする。

●判断基準

評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
	50%以下	80%以下	80%を超える	
90 %以上	a	a'	b	a'
75 %以上 90 %未満	a'	b	b'	b
60 %以上 75 %未満	b	b'	c	b'
60 %未満	b'	c	c	c

注 試験結果の打点数等が少なくなればばらつきの判断ができない場合は評価対象項目 (評価値) だけで評価する。



3. 出来形及び出来ばえ  
II. 品質

場 備 事  
ほ 整 工

- [客土及び耕土搬入工事]  
 25. 石礫等の雑物が混入されていないことが確認できる。  
 26. 田面は、良好な排水状態で施工していることが確認できる。  
 27. 客土運搬量を、出来形のほかにその他資料（土取場の数、運搬車両数等）で確認できる。・・・[採取土の場合]  
 28. 客土運搬量の防塵や路面損傷防止等の対策をし、破損させた箇所は原形復旧している。・・・[購入土の場合]  
 29. 運搬道路の交通安全対策や過積載についての自社の基準を設定・管理し、それを記録にとどめている  
 30. 公道運搬での交通条件に合わせて作業中止基準を自社で設定・管理し、それを記録にとどめている。  
 31. その他（理由：）

[敷砂利工事] \*敷砂利工事のみ適用

1. 路床面が十分に不陸整正されていることが確認できる。  
 2. 路面の中央部が高く、横断勾配を取って施工されている。  
 3. 敷砂利材料の敷均しは、砕石の粒度の分離が無く敷厚が均一に仕上がっている。・・・[採取土の場合]  
 4. 敷砂利材料は鉄線等有害な異物の混入が少なくなり努力して施工している。・・・[購入土の場合]  
 5. 路肩等に路面排水対策が自社により施工されている。  
 6. その他（理由：）

●判断基準

	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
	50%以下	80%以下	80%を超える	
評 価 値	90%以上	a	a'	a'
	75%以上 90%未満	a'	b	b
	60%以上 75%未満	b	b'	b'
	60%未満	b'	c	c

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきでの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。

工種 コンクリート 二次製品 水路工事	Ⅱ.品質	3.出来形及び出来ばえ	品質関係の試験結果が規格外、試験基準を超える不適合に該当する。
------------------------------	------	-------------	---------------------------------

<p>Ⅱ.品質</p> <p>3.出来形及び出来ばえ</p> <p>品質関係の試験結果が規格外、試験基準を超える不適合に該当する。</p>	<p>品質関係の試験結果が規格外、試験基準を超える不適合に該当する。</p>	<p>品質関係の試験結果が規格外、試験基準を超える不適合に該当する。</p>	<p>品質関係の試験結果が規格外、試験基準を超える不適合に該当する。</p>
---	--	--	--

- 【評価対象項目】
1. 施工基面は、土質が適正であるか確認が出来て、かつ、良好な排水状態が施工されていることが確認できる。
  2. 埋戻しは、雑物等が混入せず、良好な(過湿・過乾燥・凍土状態でない)状態で施工されていることが確認できる。
  3. 水路の目的(用・排水、道路用等)を考慮して、配置や構造物とのすり付けなどが適切に施工されていることが確認できる。
  4. 水路の目地やマチ部は、水はねや水漏れが無いようにしている。
  5. コンクリート構造物にきめ細やかな施工がうかがえる。
  6. 二次製品の吊り込み、据付の際に十分に注意を払っていること
  7. が確認できる。現場検収において、入荷方法や製品状況をチェックしていることが確認できる。
  8. クラックがない。
  9. その他(理由: )

●判断基準

評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
	50%以下	80%以下	80%を超える	
90%以上	a	a'	b	a'
75%以上 90%未満	a'	b	b'	b
60%以上 75%未満	b	b'	c	b'
60%未満	b'	c	c	c

※ 試験結果の打点数等が少なくばらつきでの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

工種 ため池 工事 Ⅱ.品質	a 評価対象項目の履行状況 (評価値) と品質関係の試験結果のばらつきとから判断する。 【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ばらつきの判断は別紙一4参照。 別紙一3の作成は別紙一5により行う。	b b' c	d 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超え不適合に該当する。
-------------------------	---	--------------	-------------------------------------

【評価対象項目】

- 1. 盛立てにおいて、基礎処理 (コンタクトクレイ等) や盛立て材料、盛立て方法が設計図書のとおり施工されていることが確認できる。
- 2. 表土はぎ取り及び段切り等が適切に行われていることが確認できる。
- 3. 切土面等からの湧水処理を適切に処理していることが確認できる。
- 4. 施工基面及び法面が平滑に仕上げられていることが確認できる。
- 5. 気象条件を考慮した施工が確認できる。
- 6. 構造物の基礎処理や埋戻しが設計図書のとおり行われていることが確認できる。
- 7. 鉄筋の組立、継ぎ手部、かぶりは工事図面に示されたとおりに施工していることが確認できる。
- 8. 完了後の土取場・土捨場の処理 (均し状況、排水状況等) が適切に施工されていることが確認できる。
- 9. その他 (理由: )

●判断基準

①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。  
 ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として比率 (%) 計算の値で評価する。  
 ③評価値 ( %) = 該当項目数 ( ) / 対象評価項目数 ( )  
 ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合にはc評価とする。

評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
	50%以下	80%以下	80%を超える	
90%以上	a	a'	b	a'
75%以上 90%未満	a'	b	b'	b
60%以上 75%未満	b	b'	c	b'
60%未満	b'	c	c	c

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目 (評価値) だけで評価する。

工種 水路補修工事 II.品質	工種 水路補修工事	a 評価対象項目の履行状況 (評価値) と品質関係の試験結果のばらつきとから判断する。 【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ばらつきの判断は別紙一4参照。 別紙一3の作成は別紙一5により行う。	a'	b	b'	c	d 品質関係の試験結果が規格外、試験基準を超える不適合に該当する。																							
<p><b>【評価対象項目】</b>                      [共通]  <input type="checkbox"/> 1. 使用する材料の品質・形状等が適切であり、かつ、現場において材料確認を適宜・的確に行っていることが確認できる。  <input type="checkbox"/> 2. 構造物の劣化状況をよく把握して、適切な対策を施していることが確認できる。  <input type="checkbox"/> 3. 気象条件に応じた施工方法で施工されていることが確認できる。  <input type="checkbox"/> 4. 部材の洗浄・下地処理が適切に行われていることが確認できる。  <input type="checkbox"/> 5. 養生の期間・現場条件が適切になされていることが確認できる。  <input type="checkbox"/> 6. その他 (理由： )</p> <p>[開水路補修工]  <input type="checkbox"/> 7. 補修材が当該既設構造物へしっかりと密着 (規程の付着強度等をクリアされている) されていることが確認できる。  <input type="checkbox"/> 8. 目地の対策が適切に施工されていることが確認できる。</p> <p>[管更正工]  <input type="checkbox"/> 9. 規定の厚さで施工されていることが確認できる。  <input type="checkbox"/> 10. 施工後の規定断面が確保されていることが確認できる。  <input type="checkbox"/> 11. 管更正材が当該既設構造物へしっかりと密着 (規定の付着強度等をクリアされている) されていることが確認できる。  <input type="checkbox"/> 12. 各種耐用試験結果 (曲げ強度試験他) にクリアしていることが確認できる。  <input type="checkbox"/> 13. 曲線部の施工では弛みが無いことが確認できる。また、施工上、やむを得ない出来た弛みも適切な方法により対処したことが確認できる。</p> <p>●判断基準</p>																														
<p>①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。                      ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として評価する。                      ③評価値 ( % ) = 該当項目数 ( ) / 対象評価項目数 ( )                      ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合にはc評価とする。</p>																														
<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="2">ばらつきで判断可能</th> <th>ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上 90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上 75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>								評価値	ばらつきで判断可能		ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	75%以上 90%未満	a'	b	b'	60%以上 75%未満	b	b'	c	60%未満	b'	c	c
評価値	ばらつきで判断可能		ばらつきで判断不可能																											
	50%以下	80%以下	80%を超える																											
90%以上	a	a'	b																											
75%以上 90%未満	a'	b	b'																											
60%以上 75%未満	b	b'	c																											
60%未満	b'	c	c																											

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目 (評価値) だけで評価する。

工種 上記以外工事	a <input type="checkbox"/> 評価対象項目の履行状況 (評価値) と品質関係の試験結果のばらつきとから判断する。 【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ばらつきの判断は別紙ー4 参照。 別紙ー3の作成は別紙ー5により行う。	b b'	c c'	d <input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格外、試験基準を超える不適合に該当する。
	Ⅱ.品質			

【評価対象項目】

- 理由:
- 理由:
- 理由:
- 理由:
- 理由:
- 理由:
- 理由:
- 理由:

①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。  
 ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として評価計算の値(%)とする。  
 ③評価値(%) = 該当項目数( ) / 対象評価項目数( )  
 ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合にはc評価とする。

※既様式では評価しがたい場合に適宜評価項目を設定する。

●判断基準

評価値	ばらつきで判断可能		ばらつきで判断不可能
	50%以下	80%以下	
90%以上	a	a'	a'
75%以上 90%未満	a'	b	b
60%以上 75%未満	b	b'	b'
60%未満	b'	c	c

注 試験結果の打点数等が少なくなればらつきの判断ができない場合は評価対象項目 (評価値) だけで評価する。

工種 多工種 複工	工種 複工事	a	a'	b	b'	c	d
3.出来形及び出来ばえ II.品質	評価対象項目の履行状況 (評価値) と品質関係の試験結果のばらつきとから判断する。 【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ばらつきの判断は別紙ー4 参照。 別紙ー3 の作成は別紙ー5 により行う。	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格外、試験基準を超える不適合に該当する。					

【評価対象項目】

主たる工種 該当項目数 対象評価項目数

i) 別紙ー3 ( )	( )	( )
ii) 別紙ー3 ( )	( )	( )
iii) 別紙ー3 ( )	( )	( )
合計	( )	( )

- ①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。  
 ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として比率 (%) 計算の値で評価する。  
 ③評価値 ( %) = 合計該当項目数 ( ) / 合計対象評価項目数 ( )  
 ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。

※本様式は、多工種で評定対象が重要な場合に、それぞれに該当する様式を複数選択し評価する場合に使用する。

●判断基準

評価値	ばらつきで判断可能		ばらつきで判断不可能
	50%以下	80%以下	
90 %以上	a	a'	b
75 %以上 90 %未満	a'	b	b'
60 %以上 75 %未満	b	b'	c
60 %未満	b'	c	c

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目 (評価値) だけで評価する。

別紙-3 ㉔

調査項目	工種	a b c d			
		優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている
3.出来形及び出来ばえ Ⅲ.出来ばえ	コンクリート構造物工事 砂防構造物工事 海岸工事 トンネル工事	●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 1. リート構造物の表面状態が良い。 <input type="checkbox"/> 2. コンクリート構造物の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 3. 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い。 <input type="checkbox"/> 4. クラックが無い。 <input type="checkbox"/> 5. 漏水が無い。 <input type="checkbox"/> 6. 全体的な美観が良い。		●判断基準 該当5項目以上・・・a 該当4項目・・・b 該当3項目・・・c 該当2項目以下・・・d	
	土工事 (盛土、築堤等工事)	●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 1. 仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 2. 通りが良い。 <input type="checkbox"/> 3. 天端及び端部処理が良い。 <input type="checkbox"/> 4. 構造物へのすりつけ等が良い。 <input type="checkbox"/> 5. 全体的な美観が良い。		●判断基準 該当4項目以上・・・a 該当3項目・・・b 該当2項目・・・c 該当1項目以下・・・d	
	土工事 (切土)	●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 1. 規定された勾配が確保されている。 <input type="checkbox"/> 2. 切土法面の施工にあたって、法面の浮石が除去されるなど、適切に施工されている。 <input type="checkbox"/> 3. 法面勾配の変化部について、干渉部を設けるなど適切に施工されている。 <input type="checkbox"/> 4. 滞水等による施工面の損傷が発生しないよう処理が行われている。 <input type="checkbox"/> 5. 関係構造物との取り合いが設計図書を満足するよう施工されている。 <input type="checkbox"/> 6. 全体的な美観が良い。		●判断基準 該当5項目以上・・・a 該当4項目・・・b 該当3項目・・・c 該当2項目以下・・・d	
	土工事 (河道開削)	●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 1. 規定された縦横断勾配が確保されている。 <input type="checkbox"/> 2. 河積を阻害する転石等が除去されるなど、平坦 (または適切) に施工されている。(魚巢等の目的を有する転石を除く) <input type="checkbox"/> 3. 法面・河床勾配の変化部について、干渉部を設けるなど適切に施工されている。 <input type="checkbox"/> 4. みお筋の通り (平面線形) が良い。 <input type="checkbox"/> 5. 関係構造物との取り合いが適切に施工されている。 <input type="checkbox"/> 6. 全体的な美観が良い。		●判断基準 該当5項目以上・・・a 該当4項目・・・b 該当3項目・・・c 該当2項目以下・・・d	
	護岸・根固・水制工事	●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 1. 通りが良い。 <input type="checkbox"/> 2. 材料の組み合わせがよく安定している。 <input type="checkbox"/> 3. 天端及び端部の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 4. 既設構造物とのすりつけが良い。 <input type="checkbox"/> 5. 曲線部や縦断勾配の急な箇所での施工が良い。 <input type="checkbox"/> 6. 吸い出しやクラックが無い。 <input type="checkbox"/> 7. 全体的な美観が良い。		●判断基準 該当6項目以上・・・a 該当5項目・・・b 該当4項目・・・c 該当3項目以下・・・d	
	鋼橋工事 (RC床版工事はコンクリート構造物に準ずる) 鋼製ジェット工事	●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 1. 表面に補修箇所がない。 <input type="checkbox"/> 2. 部材表面に傷及び錆が無い。 <input type="checkbox"/> 3. 溶接に均一性がある。 <input type="checkbox"/> 4. 塗装に均一性がある。 <input type="checkbox"/> 5. 全体的な美観が良い。		●判断基準 該当4項目以上・・・a 該当3項目・・・b 該当2項目・・・c 該当1項目以下・・・d	

別紙-3㉔

工種	a		b		c		d	
	優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている	判断基準	判断基準	判断基準	判断基準
III. 出来ばえ	<p>● 評価対象項目</p> <p><input type="checkbox"/> 1. 地山との取り合いが良い。</p> <p><input type="checkbox"/> 2. 天端及び端部の仕上げが良い。</p> <p><input type="checkbox"/> 3. 施工管理記録等から不可視部分の出来ばえの良さが伺える。</p> <p><input type="checkbox"/> 4. 仕上がりが丁寧できめ細かい。</p> <p><input type="checkbox"/> 5. 全体的な美観が良い。</p>	<p>● 評価対象項目</p> <p><input type="checkbox"/> 1. 舗装の平坦性が良い。</p> <p><input type="checkbox"/> 2. 構造物の通りが良い。</p> <p><input type="checkbox"/> 3. 端部処理が良い。</p> <p><input type="checkbox"/> 4. 構造物へのすりつけが良い。</p> <p><input type="checkbox"/> 5. 雨水処理が良い。</p> <p><input type="checkbox"/> 6. 継目等の離れや舗装面の剥がれが無い。</p> <p><input type="checkbox"/> 7. 全体的な美観が良い。</p>	<p>● 判断基準</p> <p>該当4項目以上</p> <p>該当3項目以上</p> <p>該当2項目以上</p> <p>該当1項目以上</p>	<p>● 判断基準</p> <p>該当6項目以上</p> <p>該当5項目以上</p> <p>該当4項目以上</p> <p>該当3項目以上</p>	<p>● 判断基準</p> <p>該当6項目以上</p> <p>該当5項目以上</p> <p>該当4項目以上</p> <p>該当3項目以上</p>	<p>● 判断基準</p> <p>該当4項目以上</p> <p>該当3項目以上</p> <p>該当2項目以上</p> <p>該当1項目以上</p>	<p>● 判断基準</p> <p>該当5項目以上</p> <p>該当4項目以上</p> <p>該当3項目以上</p> <p>該当2項目以上</p>	<p>● 判断基準</p> <p>該当4項目以上</p> <p>該当3項目以上</p> <p>該当2項目以上</p> <p>該当1項目以上</p>
基礎工事 (地盤改良等を含む)	<p>● 評価対象項目</p> <p><input type="checkbox"/> 1. 通りが良い。</p> <p><input type="checkbox"/> 2. 植生、吹付等の状態が均一である。</p> <p><input type="checkbox"/> 3. 端部処理が良い。</p> <p><input type="checkbox"/> 4. 仕上げが丁寧できめ細かい。</p> <p><input type="checkbox"/> 5. 亀裂やクラックが無い。</p> <p><input type="checkbox"/> 6. 施工管理記録等から不可視部分の出来ばえの良さが伺える。</p> <p><input type="checkbox"/> 7. 全体的な美観が良い。</p>		<p>● 判断基準</p> <p>該当6項目以上</p> <p>該当5項目以上</p> <p>該当4項目以上</p> <p>該当3項目以上</p>		<p>● 判断基準</p> <p>該当4項目以上</p> <p>該当3項目以上</p> <p>該当2項目以上</p> <p>該当1項目以上</p>		<p>● 判断基準</p> <p>該当4項目以上</p> <p>該当3項目以上</p> <p>該当2項目以上</p> <p>該当1項目以上</p>	
コンクリート橋工事 (P.C(購入桁を含む)及びRCを対象) コンクリート製ジェット工事	<p>● 評価対象項目</p> <p><input type="checkbox"/> 1. コンクリート構造物の表面状態が良い。</p> <p><input type="checkbox"/> 2. コンクリート構造物の通りが良い。</p> <p><input type="checkbox"/> 3. 天端及び端部の仕上げが良い。</p> <p><input type="checkbox"/> 4. 支承部の仕上げが良い。</p> <p><input type="checkbox"/> 5. クラックが無い。</p> <p><input type="checkbox"/> 6. 全体的な美観が良い。</p>		<p>● 判断基準</p> <p>該当5項目以上</p> <p>該当4項目以上</p> <p>該当3項目以上</p> <p>該当2項目以上</p>		<p>● 判断基準</p> <p>該当5項目以上</p> <p>該当4項目以上</p> <p>該当3項目以上</p> <p>該当2項目以上</p>		<p>● 判断基準</p> <p>該当4項目以上</p> <p>該当3項目以上</p> <p>該当2項目以上</p> <p>該当1項目以上</p>	
塗装工事 (工場塗装を除く)	<p>● 評価対象項目</p> <p><input type="checkbox"/> 1. 塗装の均一性が良い。</p> <p><input type="checkbox"/> 2. 細部まできめ細かな施工がされている。</p> <p><input type="checkbox"/> 3. 補修箇所がない。</p> <p><input type="checkbox"/> 4. ケレンの施工状況が良好である。</p> <p><input type="checkbox"/> 5. 全体的な美観が良い。</p>		<p>● 判断基準</p> <p>該当4項目以上</p> <p>該当3項目以上</p> <p>該当2項目以上</p> <p>該当1項目以上</p>		<p>● 判断基準</p> <p>該当4項目以上</p> <p>該当3項目以上</p> <p>該当2項目以上</p> <p>該当1項目以上</p>		<p>● 判断基準</p> <p>該当4項目以上</p> <p>該当3項目以上</p> <p>該当2項目以上</p> <p>該当1項目以上</p>	
植栽工事	<p>● 評価対象項目</p> <p><input type="checkbox"/> 1. 樹木の活着状況が良い。</p> <p><input type="checkbox"/> 2. 支柱の取り付けがきめ細かく施工されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 3. 支柱の取り付けが堅固である。</p> <p><input type="checkbox"/> 4. 全体的な美観が良い。</p>		<p>● 判断基準</p> <p>該当3項目以上</p> <p>該当2項目以上</p> <p>該当1項目以上</p> <p>該当項目なし</p>		<p>● 判断基準</p> <p>該当3項目以上</p> <p>該当2項目以上</p> <p>該当1項目以上</p> <p>該当項目なし</p>		<p>● 判断基準</p> <p>該当3項目以上</p> <p>該当2項目以上</p> <p>該当1項目以上</p> <p>該当項目なし</p>	

別紙-3㉞

工種	a 優れている	b やや優れている	c 他の評価に該当しない	d 劣っている
防護柵工事	<p>● 評価対象項目</p> <p><input type="checkbox"/> 1. 端部処理が良い。</p> <p><input type="checkbox"/> 2. 部材表面に傷及び錆が無い。</p> <p><input type="checkbox"/> 3. 構造物等とのすりつけが良い。</p> <p><input type="checkbox"/> 4. 既設構造物等に施工されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 5. 細やかな美観が良い。</p> <p><input type="checkbox"/> 6. 全体的な美観が良い。</p>	<p>● 判断基準</p> <p>該当5項目以上</p> <p>該当4項目</p> <p>該当3項目</p> <p>該当2項目以下</p>	<p>● 判断基準</p> <p>該当4項目以上</p> <p>該当3項目以上</p> <p>該当2項目</p> <p>該当1項目以下</p>	<p>● 判断基準</p> <p>該当4項目以上</p> <p>該当3項目以上</p> <p>該当2項目</p> <p>該当1項目以下</p>
標識工事	<p>● 評価対象項目</p> <p><input type="checkbox"/> 1. 設置位置に配慮がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 2. 標識板の向き並びに角度及びその支柱の通りが良い。</p> <p><input type="checkbox"/> 3. 標識板及びその支柱に傷や変色が無い。</p> <p><input type="checkbox"/> 4. 支柱基礎が入念に埋め戻されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 5. 全体的な取り扱いがしやすい。</p>	<p>● 判断基準</p> <p>該当4項目以上</p> <p>該当3項目以上</p> <p>該当2項目</p> <p>該当1項目以下</p>	<p>● 判断基準</p> <p>該当4項目以上</p> <p>該当3項目以上</p> <p>該当2項目</p> <p>該当1項目以下</p>	<p>● 判断基準</p> <p>該当4項目以上</p> <p>該当3項目以上</p> <p>該当2項目</p> <p>該当1項目以下</p>
区画線等配置工事	<p>● 評価対象項目</p> <p><input type="checkbox"/> 1. 塗料の塗布が均一である。</p> <p><input type="checkbox"/> 2. 視認性が良い。</p> <p><input type="checkbox"/> 3. 接着状態が良い。</p> <p><input type="checkbox"/> 4. 施工前の清掃が入念に実施されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 5. 全体的な美観が良い。</p>	<p>● 判断基準</p> <p>該当4項目以上</p> <p>該当3項目以上</p> <p>該当2項目</p> <p>該当1項目以下</p>	<p>● 判断基準</p> <p>該当4項目以上</p> <p>該当3項目以上</p> <p>該当2項目</p> <p>該当1項目以下</p>	<p>● 判断基準</p> <p>該当4項目以上</p> <p>該当3項目以上</p> <p>該当2項目</p> <p>該当1項目以下</p>
造園工事	<p>● 評価対象項目</p> <p><input type="checkbox"/> 1. 施設構造物の肌、通り及び収まり等仕上げの状態が良い。</p> <p><input type="checkbox"/> 2. 路面表層部の平坦性が良い。</p> <p><input type="checkbox"/> 3. 遊具等の作動が安全でかつ良好に作動する。</p> <p><input type="checkbox"/> 4. 維持管理等の配慮が良い。</p> <p><input type="checkbox"/> 5. 全体的な景観が良い。</p>	<p>● 判断基準</p> <p>該当4項目以上</p> <p>該当3項目</p> <p>該当2項目</p> <p>該当1項目以下</p>	<p>● 判断基準</p> <p>該当4項目以上</p> <p>該当3項目</p> <p>該当2項目</p> <p>該当1項目以下</p>	<p>● 判断基準</p> <p>該当4項目以上</p> <p>該当3項目</p> <p>該当2項目</p> <p>該当1項目以下</p>
下水道工事	<p>● 評価対象項目</p> <p><input type="checkbox"/> 1. 管渠の通りが良い。</p> <p><input type="checkbox"/> 2. 施工管理記録等から不可視部分の出来ばえの良さが伺える。</p> <p><input type="checkbox"/> 3. インバートが滑らかに仕上げられている。</p> <p><input type="checkbox"/> 4. マンホール天端が周辺の表面勾配に合致するように仕上げられている。</p> <p><input type="checkbox"/> 5. 舗装の平坦性が良い。</p> <p><input type="checkbox"/> 6. 全体的な仕上げが良い。</p>	<p>● 判断基準</p> <p>該当5項目以上</p> <p>該当4項目</p> <p>該当3項目</p> <p>該当2項目以下</p>	<p>● 判断基準</p> <p>該当5項目以上</p> <p>該当4項目</p> <p>該当3項目</p> <p>該当2項目以下</p>	<p>● 判断基準</p> <p>該当5項目以上</p> <p>該当4項目</p> <p>該当3項目</p> <p>該当2項目以下</p>
港湾築造工事 (海岸築造工事を 含む)	<p>● 評価対象項目</p> <p><input type="checkbox"/> 1. 構造物の通りが良い。</p> <p><input type="checkbox"/> 2. 施工管理記録等から不可視部分の出来ばえの良さが伺える。</p> <p><input type="checkbox"/> 3. 構造物の表面及び端部の仕上げが良い。</p> <p><input type="checkbox"/> 4. 構造物等のきめ細やかな施工がなされている。</p> <p><input type="checkbox"/> 5. 全体的な美観が良い。</p> <p><input type="checkbox"/> 6. クラックが無い。(コンクリート工事が含まれる場合)</p>	<p>● 判断基準</p> <p>該当5項目以上</p> <p>該当4項目</p> <p>該当3項目</p> <p>該当2項目以下</p>	<p>● 判断基準</p> <p>該当5項目以上</p> <p>該当4項目</p> <p>該当3項目</p> <p>該当2項目以下</p>	<p>● 判断基準</p> <p>該当5項目以上</p> <p>該当4項目</p> <p>該当3項目</p> <p>該当2項目以下</p>
港湾浚渫工事 (地盤改良工事を 含む)	<p>● 評価対象項目</p> <p><input type="checkbox"/> 1. 規定された水深・勾配又は改良深度等が確保されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 2. 施工管理記録等から不可視部分の出来ばえの良さが伺える。</p> <p><input type="checkbox"/> 3. 施工後の表面及び底面等の全体的な仕上げが良い。</p> <p><input type="checkbox"/> 4. 浚渫及び盛り等々の土砂が適切に処理されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 5. きめ細やかに施工されている。</p>	<p>● 判断基準</p> <p>該当4項目以上</p> <p>該当3項目</p> <p>該当2項目</p> <p>該当1項目以下</p>	<p>● 判断基準</p> <p>該当4項目以上</p> <p>該当3項目</p> <p>該当2項目</p> <p>該当1項目以下</p>	<p>● 判断基準</p> <p>該当4項目以上</p> <p>該当3項目</p> <p>該当2項目</p> <p>該当1項目以下</p>

別紙-3 ㉔

工種	a		b		c		d	
	優れている		やや優れている		他の評価に該当しない		劣っている	
3.出来形及び出来ばえ Ⅲ.出来ばえ	改良、舗装工事	● 評価対象項目 <input type="checkbox"/> 1. 構造物の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 2. 構造物の仕上がりが良い。 <input type="checkbox"/> 3. 構造物等へのすりつけが良い。 <input type="checkbox"/> 4. 舗装の平坦性が良い。 <input type="checkbox"/> 5. 雨水処理が良い。 <input type="checkbox"/> 6. 全体的な美観が良い。	● 評価対象項目 <input type="checkbox"/> 1. コンクリート補修が確実に実施され、かつ肌が良い。 <input type="checkbox"/> 2. 天端及び端部の仕上がりが良い。 <input type="checkbox"/> 3. 仕上げが丁寧できめ細かい。 <input type="checkbox"/> 4. 表面に凸凹が無く、平滑に仕上げられ、通りが良い。 <input type="checkbox"/> 5. クラックや損傷が無い。 <input type="checkbox"/> 6. 全体的な美観が良い。	● 判断基準 該当5項目以上 該当4項目 該当3項目 該当2項目以下	● 判断基準 該当5項目以上 該当4項目 該当3項目 該当2項目以下	● 判断基準 該当5項目以上 該当4項目 該当3項目 該当2項目以下	● 判断基準 該当5項目以上 該当4項目 該当3項目 該当2項目以下	● 判断基準 該当5項目以上 該当4項目 該当3項目 該当2項目以下
	落石及び雪害防止工事	● 評価対象項目 <input type="checkbox"/> 1. 通りが良い。 <input type="checkbox"/> 2. 端部処理が良い。 <input type="checkbox"/> 3. きめ細かに施工されている。 <input type="checkbox"/> 4. 施工管理記録等から不可視部分の出来ばえの良さが伺える。 <input type="checkbox"/> 5. クラックが無い。(コンクリート工事が含まれる場合) <input type="checkbox"/> 6. 全体的な美観が良い。		● 判断基準 該当5項目以上 該当4項目 該当3項目 該当2項目以下		● 判断基準 該当5項目以上 該当4項目 該当3項目 該当2項目以下		
	電線共同溝工事	● 評価対象項目 <input type="checkbox"/> 1. 構造物の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 2. 構造物へのすりつけ等が良い。 <input type="checkbox"/> 3. きめ細かに施工されている。 <input type="checkbox"/> 4. 製品にクラックや欠損が無い。 <input type="checkbox"/> 5. 全体的な美観が良い。		● 判断基準 該当4項目以上 該当3項目 該当2項目 該当1項目以下		● 判断基準 該当4項目以上 該当3項目 該当2項目 該当1項目以下		
	維持修繕工事	● 評価対象項目 <input type="checkbox"/> 1. 小構造物等にも細心の注意が払われている。 <input type="checkbox"/> 2. きめ細かに施工されている。 <input type="checkbox"/> 3. 既設構造物とのすりつけが良い。 <input type="checkbox"/> 4. 全体的な美観が良い。		● 判断基準 該当3項目以上 該当2項目 該当1項目 該当項目なし		● 判断基準 該当3項目以上 該当2項目 該当1項目 該当項目なし		

別紙-3 ㉞

工種	a	b	c	d
III. 出来ばえ	<input type="checkbox"/> 全体的な完成度が優れている <input checked="" type="checkbox"/> 評価対象項目 1. きれいな仕上がり、色調が均一であり、色むら等が無く、全体的な美観が良好である。 2. 材料・製品の割付や通り等が良く、全体的な出来ばえが良好である。 3. 使用しやすさや安全性に対する配慮に優れている。 4. 仕上りの状態が良好で、作動状態も良好である。 5. 色調が均一であり、色むら等が無く、全体的な美観が良好である。 6. 材料・製品の割付や通り等が良く、全体的な出来ばえが良好である。 7. 完全に配慮した施工がなされている。 8. その他 [理由： ]	<input type="checkbox"/> 全体的な完成度が良好である	<input type="checkbox"/> 全体的な完成度が適切である	<input type="checkbox"/> 全体的な完成度が劣っている 1. 出来ばえが劣っている。

●判断基準

- 該項目が90%以上 . . . . . a
- 該項目が80%以上90%未満 . . . . . b
- 該項目が80%未満 . . . . . c

① 全体的な仕上がり状態、機能を評価する。  
 ② 出来ばえの評価は、全体的な仕上がり状態、形状、配置及び関連工事との調和、目的物としての機能などについて、観察、計測等により技術的な評価を行う。  
 ③ 「評価対象項目」のうち、評価出来ればを記入し、「評価対象外項目」は、一を記入する。  
 ④ 削除項目（「評価対象外項目」のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率（%）計算の値で評価する。  
 ⑤ 評価値（%）＝（評価項目数（）／対象評価項目数（））×100  
 ⑥ 評価対象項目数が2項目以下の場合、全て該当してもc評価とする。  
 ⑦ 建築工事・電気設備工事・暖冷房衛生設備工事等が2工種以上複合している工事については、それぞれの工種毎に評価し、工事費内訳による加重平均などの方法によってよいものとする。

工種 電気設備工事 通信設備工事	a □ 全体的な完成度が優れている	b □ 全体的な完成度が良好である	c □ 全体的な完成度が適切である	d □ 全体的な完成度が劣っている
3. 出来形及び出来ばえ  III. 出来ばえ	□ 全体的な完成度が優れている ● 評価対象項目 □ 1. 細やかな施工がなされている。 □ 2. 関連工事(工種)又は既存部分との調整がなされ、調和が良い仕上がりである。 □ 3. 機器又はシステムとして、運転状態が正常であり、性能が優れている。 □ 4. 使用者への安全に対する配慮及び環境負荷低減への対策が優れている。 □ 5. 運転操作及び保守点検等の容易さのための配慮がなされている。 □ 6. その他 [理由: ]	□ 全体的な仕上がり状態、機能を評価する ① 出来ばえの評価は、全体的な仕上がり状態、形状、配置及び関連工事との調和、目的物としての機能などについて、観察、計測等により技術的な評価を行う。 ② 評価対象項目(「評価対象外項目」)のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価対象項目(「評価対象外項目」)のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ④ 評価対象項目数が2項目以下の場合、全て該当してもc評価とする。 ⑤ 評価対象項目数が2項目以下の場合、全て該当してもc評価とする。 ⑥ 評価対象項目数が2項目以下の場合、全て該当してもc評価とする。 ⑦ 建築工事・電気設備工事・暖冷房衛生設備工事等が2工種以上複合している工事については、それぞれの工種毎に評価し、工事費内訳による加重平均などの方法によってよいものとする。	□ 1. 出来ばえが劣っている。	

● 判断基準

- 該当項目が90%以上 . . . . . a
- 該当項目が80%以上90%未満 . . . . . b
- 該当項目が80%未満 . . . . . c

工種 暖房衛生設備工事 機械設備工事	a □ 全体的な完成度が優れている ● 評価対象項目 □ 1. 大きさや細かい施工がなされている。 □ 2. 関連工事(工種)又は既存部分との調整がなされ、調和が良い仕上がっている。 □ 3. 機器又はシステムとして、運転状態が正常であり、性能が優れている。 □ 4. 使用者への安全に対する配慮及び環境負荷低減への対策が優れている。 □ 5. 運転操作及び保守点検等の容易さのための配慮がなされている。 □ 6. その他 [理由: ]	b □ 全体的な完成度が良好である	c □ 全体的な完成度が適切である	d □ 全体的な完成度が劣っている □ 1. 出来ばえが劣っている。
3. 出来形及び出来ばえ III. 出来ばえ	● 判断基準 該当項目が90%以上・・・・・・ a 該当項目が80%以上90%未満・・・ b 該当項目が80%未満・・・・・・ c ① 全体的な仕上がり状態、機能を評価する ② 出来ばえの評価は、全体的な仕上がり状態、形状、配置及び関連工事との調和、目的物としての機能などについて、観察、計測等により技術的な評価を行う。 ③ 「評価対象項目」のうち、評価出来ればを記入し、「評価対象外項目」は、一を記入する。 ④ 削除項目(「評価対象外項目」のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ⑤ 評価値(%) = (評価数( ) / 対象評価項目数( )) × 100 ⑥ 評価対象項目数が2項目以下の場合、全て該当してもc評価とする。 ⑦ 建築工事・電気設備工事・暖房衛生設備工事等が2工種以上複合している工事については、それぞれの工種毎に評価し、工事費内訳による加重平均などの方法によってよいものとする。			

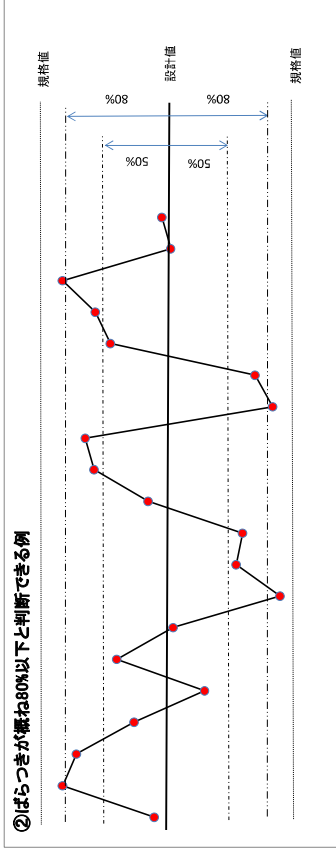
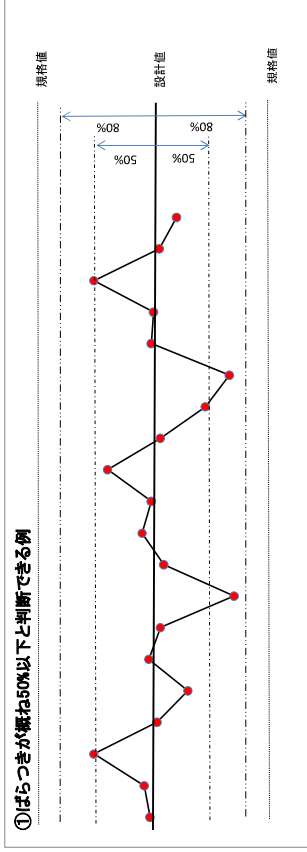
工種	a 優れている	b やや優れている	c 他の評価に該当しない	d 劣っている
3. 出来形及び出来ばえ III 出来ばえ	● 評価対象項目 <input type="checkbox"/> 1. 通りが良い。 <input type="checkbox"/> 2. 付属構造物の肌が良い。 <input type="checkbox"/> 3. 構造物とのすりが良い。 <input type="checkbox"/> 4. 仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 5. 埋め戻しの状態が良い。	やや優れている	● 判断基準 該当4項目以上 該当3項目 該当2項目 該当1項目以下	劣っている 該当4項目以上 該当3項目 該当2項目 該当1項目以下
ほ場整備工事	● 評価対象項目 【区画整理工事】※区画整理工として複合して評価が必要な場合に適用する。 <input type="checkbox"/> 1. 全体的な美観に優れている。 <input type="checkbox"/> 2. 整地工の仕上がりが良い。 <input type="checkbox"/> 3. 道路工の仕上がりが良い。 <input type="checkbox"/> 4. 水路工の仕上がりが良い。 <input type="checkbox"/> 5. 構造物等の仕上がりが良い。 <input type="checkbox"/> 6. 構造物とのすりが良い。 <input type="checkbox"/> 7. 地区外とのすりが良い。	やや優れている	● 判断基準 該当5項目以上 該当4項目 該当3項目 該当2項目以下	劣っている 該当4項目以上 該当3項目 該当2項目 該当1項目以下
暗渠排水工事・湧水処理工事	● 評価対象項目 【暗渠排水工事・湧水処理工事】※暗渠排水工事を主体として評価する必要がある場合に適用する。 <input type="checkbox"/> 1. 仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 2. 埋め戻しの状態が良い。 <input type="checkbox"/> 3. 通りが良い。 <input type="checkbox"/> 4. 暗渠排水の機能が発揮されている。 <input type="checkbox"/> 5. 構造物とのすりが良い。	やや優れている	● 判断基準 該当4項目以上 該当3項目 該当2項目 該当1項目以下	劣っている 該当4項目以上 該当3項目 該当2項目 該当1項目以下
客土及び耕土搬入工事	● 評価対象項目 【客土及び耕土搬入工事】※客土及び耕土搬入工事を主体として評価する必要がある場合に適用する。 <input type="checkbox"/> 1. 全体的な仕上がりが良い。 <input type="checkbox"/> 2. 耕作上支障ある雑物が表面にみられない。 <input type="checkbox"/> 3. 小運搬にあたって、基盤の過度のこね回しをしていない。 <input type="checkbox"/> 4. 運搬道路、進入路等の運搬後の後始末がよい。 <input type="checkbox"/> 5. 土取場の採取後の後始末がよい。[購入土は対象外]	やや優れている	● 判断基準 該当4項目以上 該当3項目 該当2項目 該当1項目以下	劣っている 該当4項目以上 該当3項目 該当2項目 該当1項目以下
敷砂利工事	● 評価対象項目 【敷砂利工事】※区画整理工事の中で道路工を主体として評価する必要がある場合に適用する。 <input type="checkbox"/> 1. 通りが良い。 <input type="checkbox"/> 2. 敷砂利面の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 3. 細部まできめ細かく仕上げている。 <input type="checkbox"/> 4. 全体的な美観が良い。	やや優れている	● 判断基準 該当4項目以上 該当3項目 該当2項目 該当1項目以下	劣っている 該当4項目以上 該当3項目 該当2項目 該当1項目以下

別紙一3④

(第3評定者)

工種	a 優れている	b やや優れている	c 他の評価に該当しない	d 劣っている
Ⅲ. 出来形 及び出来 ばえ Ⅲ. 出来 ばえ	● 評価対象項目 <input type="checkbox"/> 1. コンクリート二次製品の肌が良い。 <input type="checkbox"/> 2. コンクリート二次製品の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 3. 法面の埋め戻し等の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 4. クラックがない。 <input type="checkbox"/> 5. 附帯構造物とのすりつづけがよい。 <input type="checkbox"/> 6. 全体的な美観が良い。	● 判断基準 該当5項目以上・・・a 該当4項目・・・b 該当3項目・・・c 該当2項目以下・・・d		
ため池工事	● 評価対象項目 <input type="checkbox"/> 1. 土工の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 2. 土工の構造物へのすり付け等が良い。 <input type="checkbox"/> 3. 植生の状態が良い。 <input type="checkbox"/> 4. コンクリート構造物の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 5. 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い。 <input type="checkbox"/> 6. 全体的な美観が良い。	● 判断基準 該当5項目以上・・・a 該当4項目・・・b 該当3項目・・・c 該当2項目以下・・・d		
水路補修工事	● 評価対象項目 <input type="checkbox"/> 1. 小構造物等にも注意が払われている。 <input type="checkbox"/> 2. きめ細かな施工がなされている。 <input type="checkbox"/> 3. 既設構造物とのすり付けが良い。 <input type="checkbox"/> 4. 全体的な美観が良い。	● 判断基準 該当3項目以上・・・a 該当2項目以上・・・b 該当1項目以上・・・c 該当項目なし・・・d		
上記以外の工事	● 評価対象項目 <input type="checkbox"/> 理由： <input type="checkbox"/> 理由： <input type="checkbox"/> 理由： <input type="checkbox"/> 理由： <input type="checkbox"/> 理由：	● 判断基準 該当4項目以上・・・a 該当3項目・・・b 該当2項目・・・c 該当1項目以下・・・d		
多工種複合工事	※当該工種からの5項目程度とする。	※別紙一3⑤～別紙一3⑩の中から適宜様式を1種類選定して評価する。		

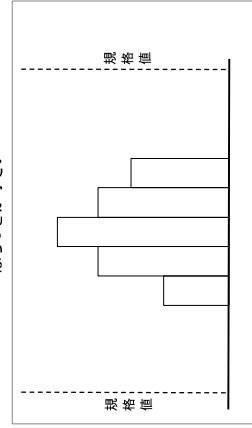
(上・下限度がある場合)



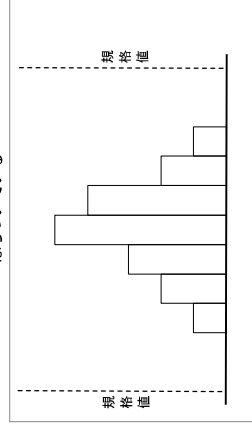
※概ねとは、測定値の8割以上が該当する場合とする。

[度数表またはヒストグラムの場合]

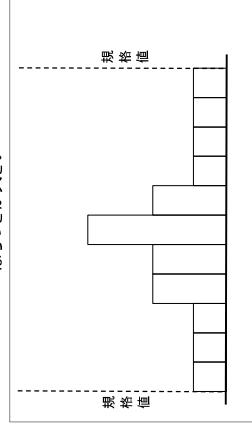
ばらつきが小さい



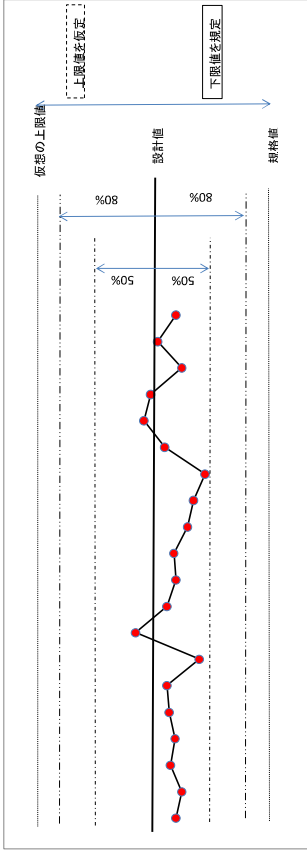
ばらついている



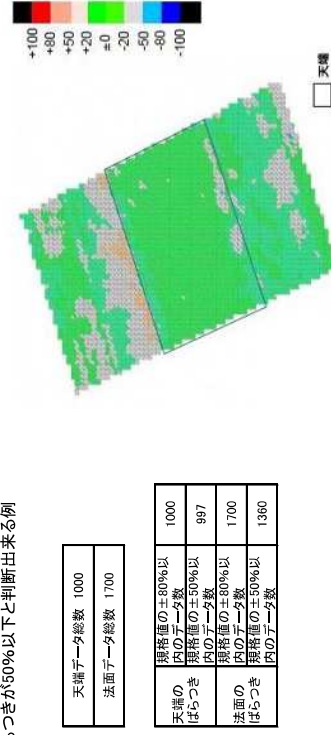
ばらつきが大きい



(下限度のみの場合)



③ICT活用工事の例  
 出来形合判定総括表の分布図や計測点の個数によりばらつきを判断  
 ばらつきが50%以下と判断出来る例



□天端

## 別紙－3の作成方法

作成方法	評価対象工種
<p><b>1 主たる工種の選定</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>数量総括表などを参考に評価対象の主たる工種を選定する。(考査項目別運用表の工種の欄から選ぶ。)</li> <li>主たる工種は工事金額の割合の多い順に選定し、全体の50%を超える工種(任意仮設費等は除いて1工種で50%を超える場合は1工種、2工種で超える場合は2工種、最大3工種まで)を選定する。</li> </ul>	<p>(主たる工種の例)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コンクリート構造物工事</li> <li>・護岸・根固・水制工事</li> <li>・舗装工事</li> <li>・</li> <li>・</li> </ul>
<p><b>2 出来形の評価</b> <span style="float: right;">別紙－3①</span></p>	
<p><b>①評価項目の評価</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・工事全般について、評価対象項目に基づき評価する。</li> </ul>	<p>工事全般</p>
<p><b>②ばらつきの判断</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主たる工種の評価対象測定項目について評価する。</li> <li>・管理図表で打点10点以上作成されているものを、運用表別紙－4の考え方に基づきばらつきの判断をする。(作成されていない場合は、軽微な手直しとして取り扱い、評価は「c」とする。)</li> <li>・別紙－3①にばらつき判断の根拠となった主たる工種名、測定項目名及び判断結果を所定の欄に記載する。</li> </ul>	<p>主たる工種</p>
<p><b>3 品質の評価</b> <span style="float: right;">別紙－3②～④</span></p>	
<p><b>①評価項目の評価</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主たる工種について、評価対象項目に基づき評価する。</li> <li>・主たる工種が複数ある工事の場合は、別紙－3④を用い、工事毎の主たる工種についての評価を行い、合計値の割合で評価値を算出して全体の評価する。</li> </ul>	<p>主たる工種</p>
<p><b>②ばらつきの判断</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主たる工種の評価対象測定項目について評価する。</li> <li>・試験頻度が10回以上実施されているものを、運用表別紙－4の考え方に基づきばらつきの判断をする。</li> <li>・別紙－3②～④にばらつき判断の根拠となった主たる工種名、試験項目名及び判断結果を空欄に記載する。</li> </ul>	<p>主たる工種</p>
<p><b>4 出来ばえの評価</b> <span style="float: right;">別紙－3⑤～⑧</span></p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・主たる工種について、評価対象項目に基づき評価する。</li> <li>・主たる工種が複数ある工事の場合は、別紙3－⑧を用い、主たる工種のうち工事金額割合が1番多い工種を選定して評価する。</li> </ul>	<p>主たる工種</p>

※出来形のばらつき判断例(別紙－5参考)

### 出来形のばらつき判断例

- ・管理図表で10点以上作成されているものを判断の対象とする。  
(作成されていない場合は、軽微な手直しとして取り扱い、評価は「c」とする。)

	＜例1＞（通常工事）		＜例2＞（多工種複合工事）			
主たる工種	舗装工事		舗装工事		護岸工事	
測定項目毎のばらつき	(表層工) 厚さ	ばらつき50%以内	(表層工) 厚さ	ばらつき50%以内	(コンクリートブロック工) 基準高	ばらつき50%以内
	幅	ばらつき80%以内	幅	ばらつき80%以内	法長	ばらつき80%超
	(上層路盤工) 厚さ	ばらつき50%以内	(上層路盤工) 厚さ	ばらつき50%以内	厚さ	ばらつき80%以内
	幅	ばらつき80%以内	幅	ばらつき80%以内	(基礎工(護岸)) 基準高	ばらつき50%以内
					幅	ばらつき50%以内
					高さ	ばらつき80%以内
<b>ばらつきの判断</b>	当該工事のばらつきの判断をする。 主たる工種の測定項目のうち最もばらつきの大きい項目を当該工事のばらつきとする。					
主たる工種	舗装工事		舗装工事		護岸工事	
測定項目	(表層工) 幅	幅	(表層工) 幅	幅	(コンクリートブロック工) 法長	
ばらつきの	ばらつき80%以内		ばらつき80%以内		ばらつき80%超	
	運用表に記載 ・主たる工種名 ・測定項目名					

※品質のばらつき判断も同様とする。